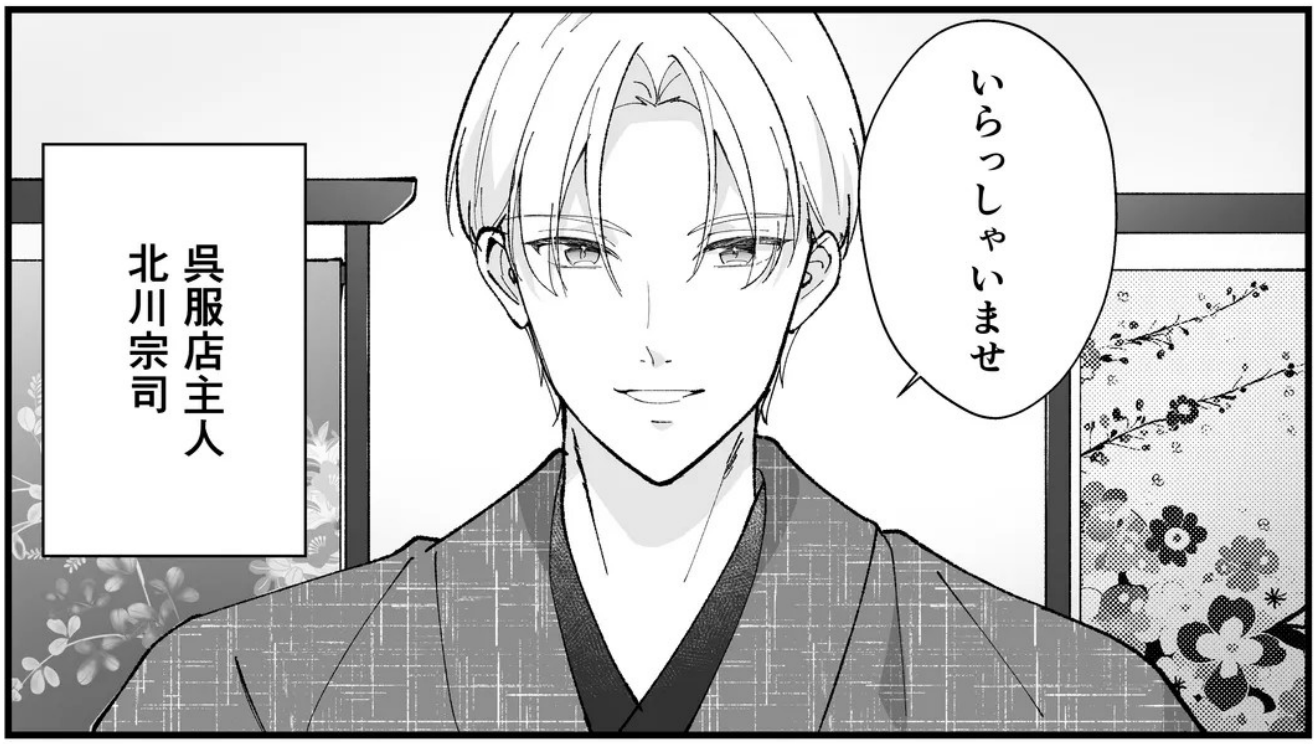
成人向け
R18
ADULT ONLY
18歳未満
購入・閲覧禁止
大正発情乙女の
縁結び
野ぜり/ZERI
転載禁止
DO NOT REPOST
禁止转载

あの日から
はっ
夜が来るのが
怖くなった
はぁっ
毎晩
決まった時刻
になると
はぁっ
私は
しぃ
しぃ
しぃ
はっ
「発情」して
はぁっ
はっ
しまうから——
くちゅ
くちゅ

ごめん
ください


いらっしゃいませ
呉服店主人
北川宗司

今日は
夏用の浴衣を
新調したくて
それでしたら
沙耶

この間のお着物
謝恩会でとっても
評判よかったわよ
それは
ようございました

はい
棚の一番上にある反物をお持ちして
はい
宗司の妹 沙耶
かしこまりました
こちらは先日入荷したばかりの品物なのですが
あら素敵ねえ
さすが兄さんお客様の好みをよく把握してる
まーっ
着物より兄さんに夢中…？

母が再婚して
家族になった
私たちは

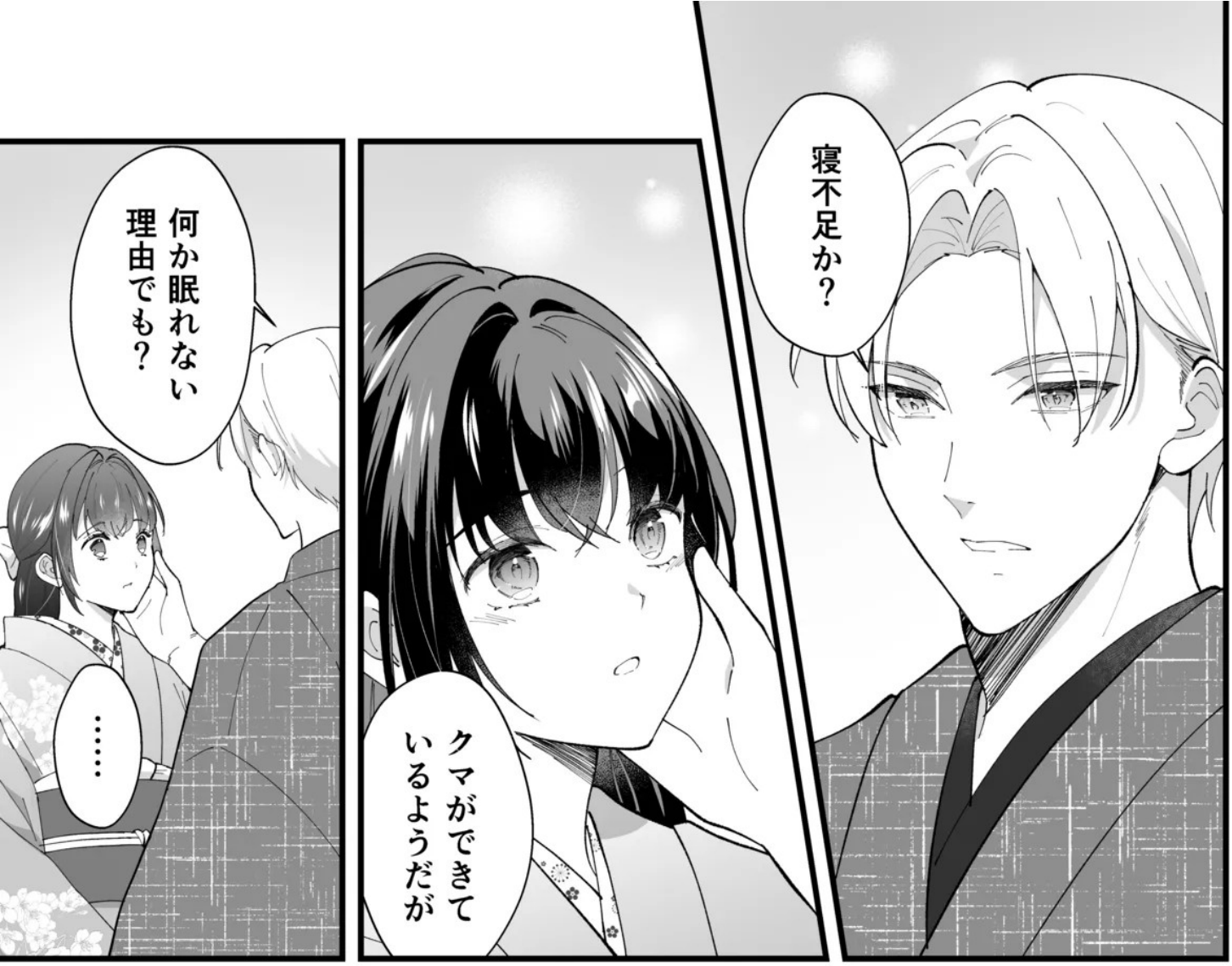
血の
つながらない
兄妹だ

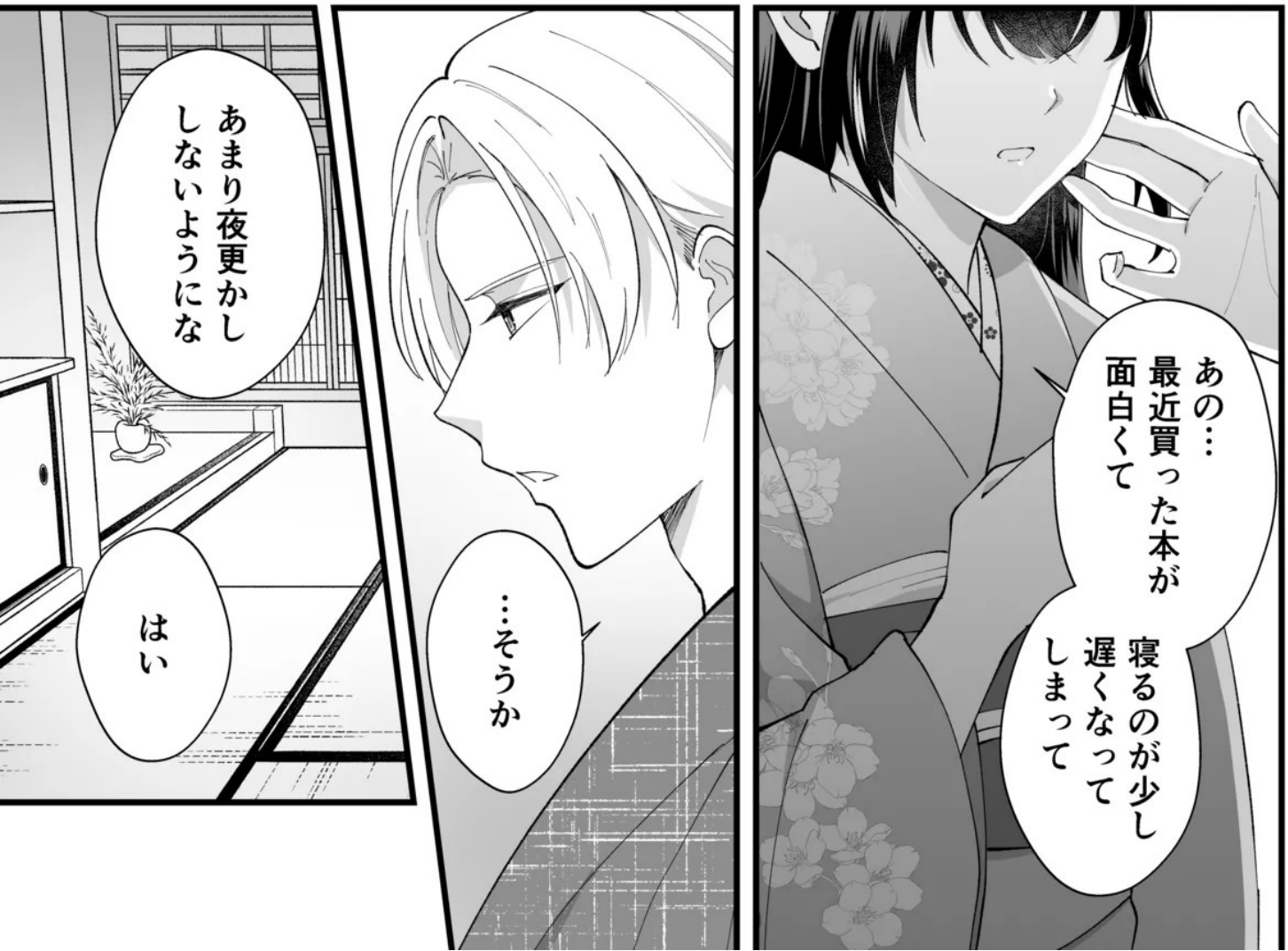
尊敬する兄と
共に働けることが
とても幸せだ

あのことさえ
なければ——

ふぁ…

沙耶


寝不足か？
クマができているようだが
何か眠れない理由でも？
……


あの…
最近買った本が面白くて
寝るのが少し遅くなってしまって
…そうか
あまり夜更かししないようにな
はい

言えるわけない

発情して眠れないせいだなんて――

今日も発情するのかな…

はぁ…

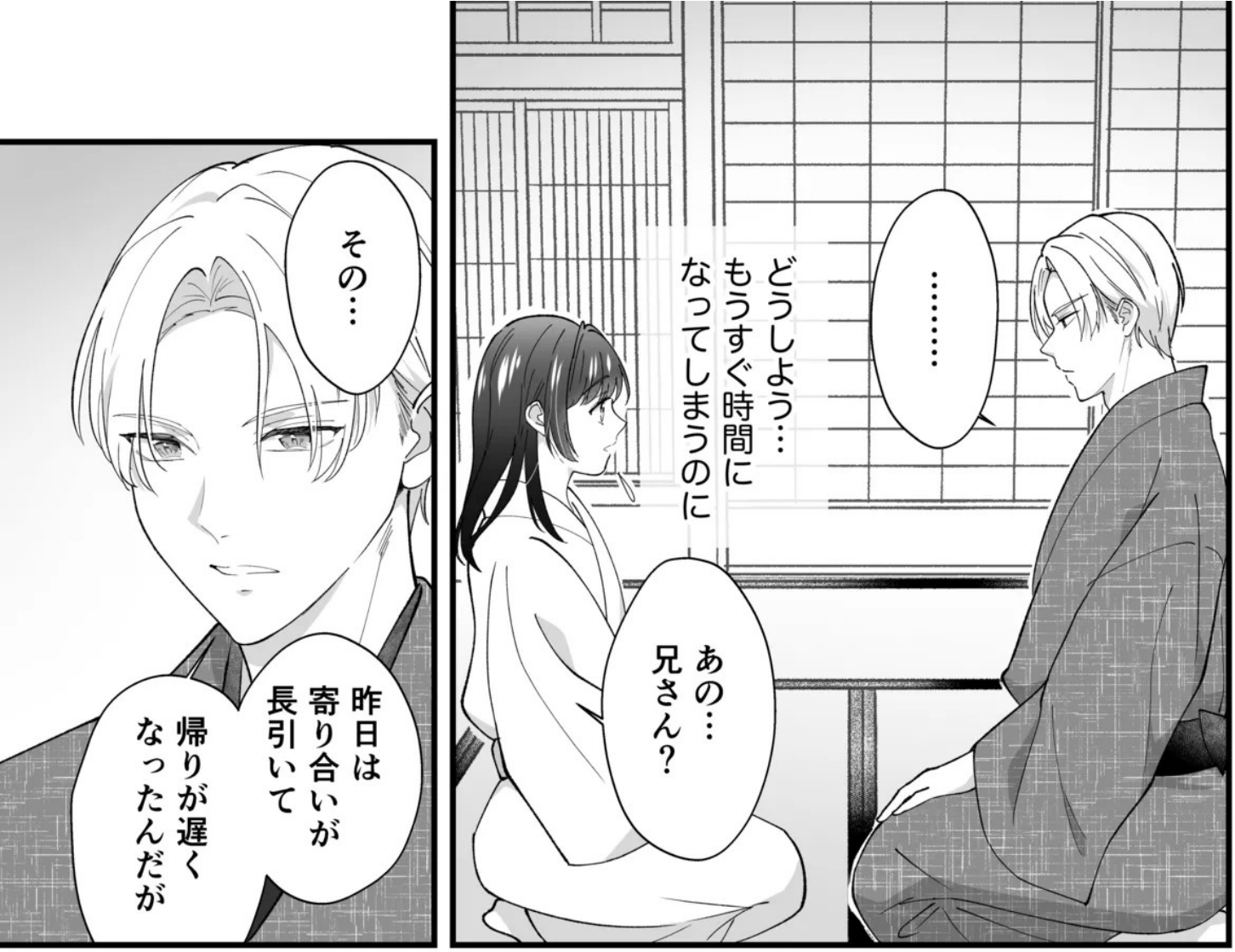
沙耶

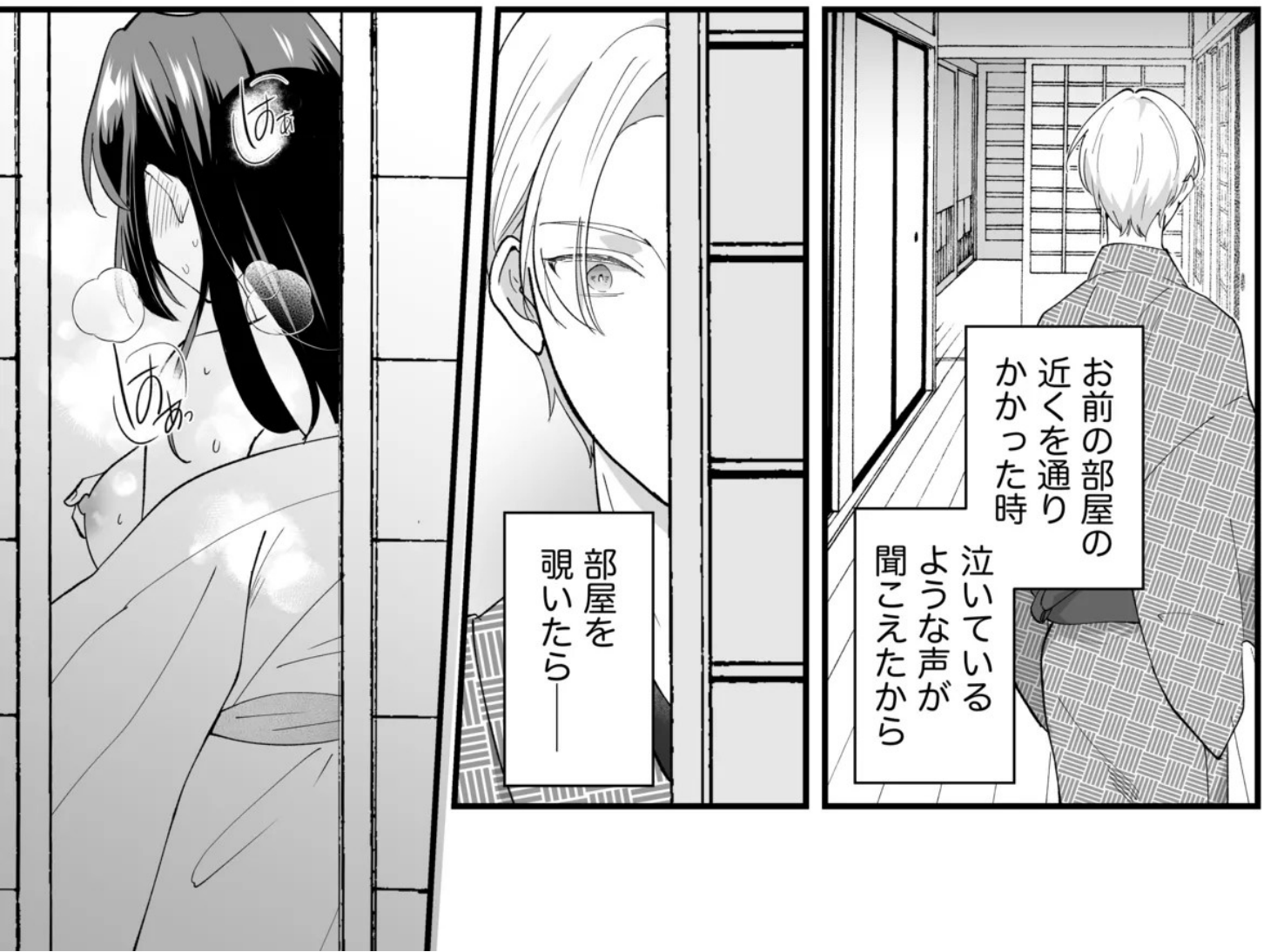
今いいか？

話したいことがあるんだが

っはい

どうぞ


……
どうしよう…
もうすぐ時間に
なってしまうのに
あの…
兄さん？
その…
昨日は
寄り合いが
長引いて
帰りが遅く
なったんだが


お前の部屋の
近くを通り
かかった時
泣いている
ような声が
聞こえたから
部屋を
覗いたら——

嘘…
見られてたなんて
カあ
……
個人的なことに
立ち入るような
真似をして
すまない
だがお前が
あまりにも
辛そうで
ただごとでは
ないように
感じたから
もし何か
困り事や悩みを
抱えているのなら
力に
なりたいんだ

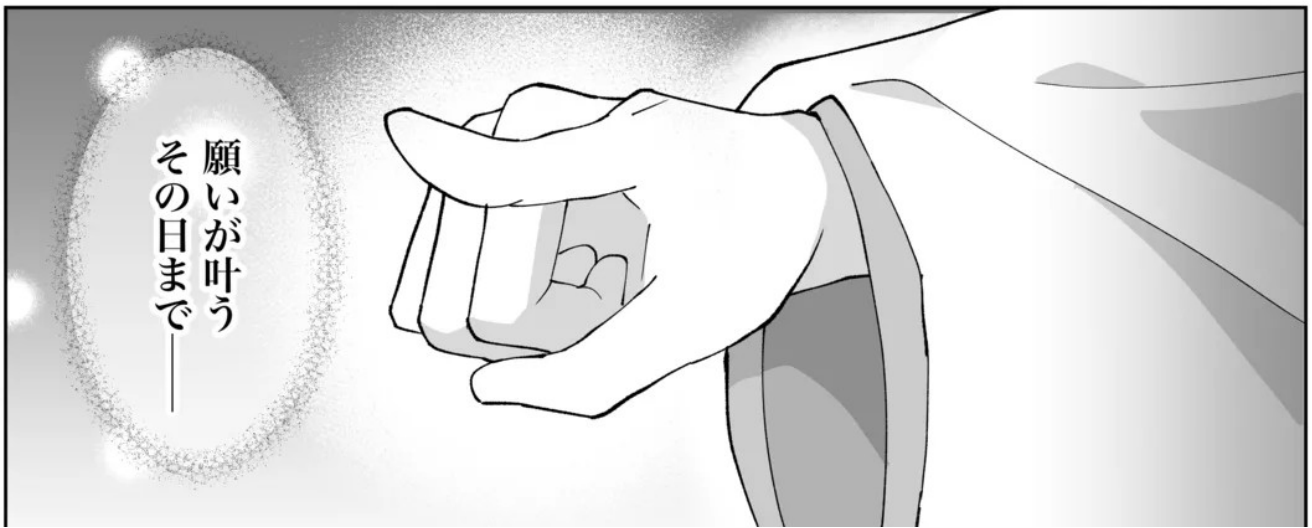
……
…少し前に
友人の倫子さんの
子宝祈願の
付き添いで
神社にお参りに
行ったんです

元気な子を
授かるよう
2人でお祈りを
しました

その日の夜――
…耶
沙耶
ぽろ

だれ…？
これは夢―？

お前の
健気な想いに
打たれて
ひとつ呪いを
かけてやる
ことにした

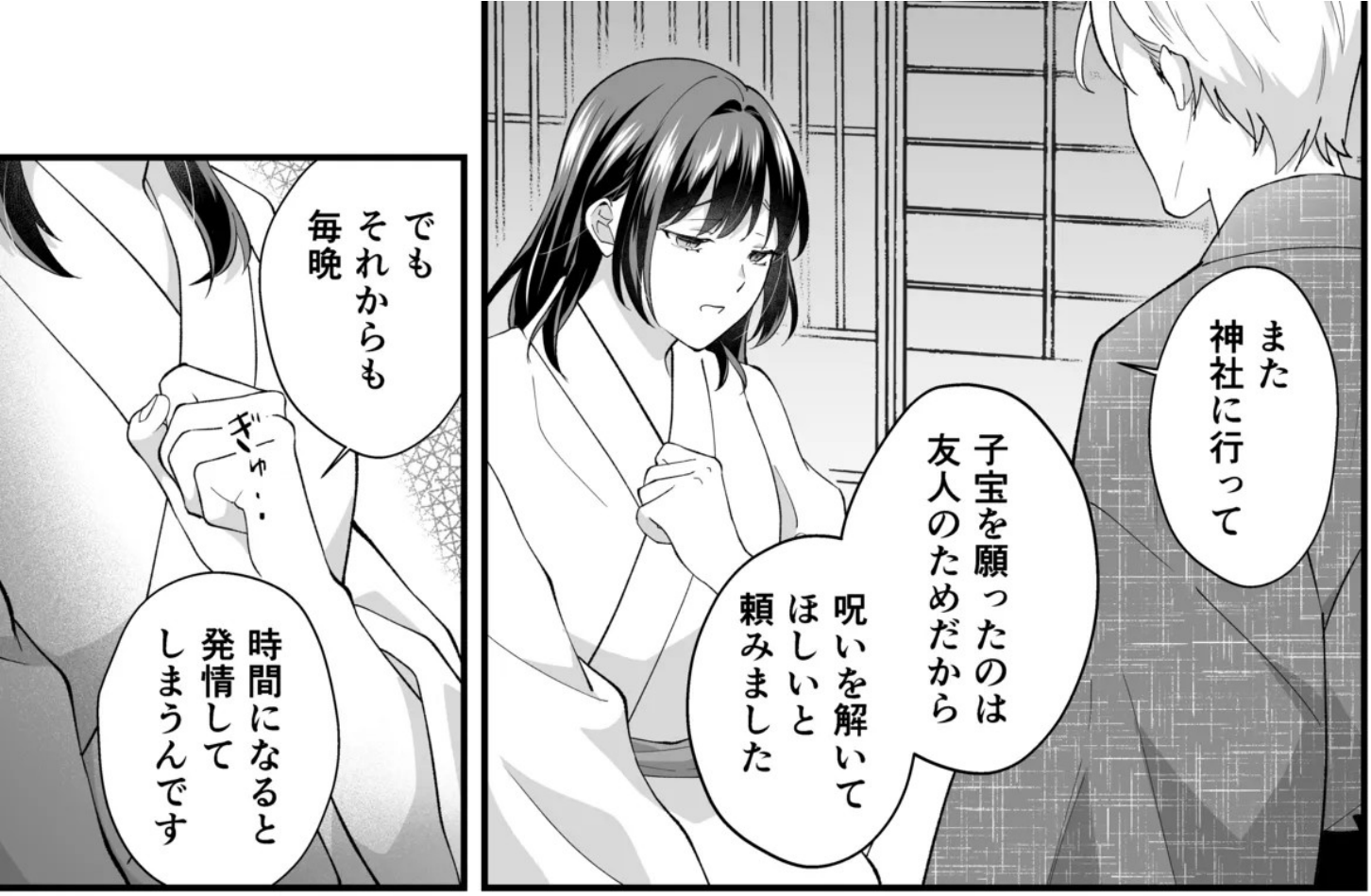

願いが叶う
その日まで――

毎晩お前は
発情し続ける
だろう――
次の日の夜
はっ
はぁッ
不思議な夢を見た
そう思っていたのに

午後九時を
回った頃
突然 体が
熱くなって
苦しい…
これが発情？
あれは夢じゃ
なかったの？
今まで
感じたことの
無いような情欲に
襲われました

苦しさから
逃れたくて
はっ
はっ
必死に自分を
慰めました
くちゅ…
快楽を得て
少し楽になる
心地がしても
はぁ
はぁ

やめるとまた
苦しくなって
くぃぃ
あぁ
あぁ
余計に飢えた
感覚に襲われて
こしゅこしゅ
こしゅこしゅ
こしゅこしゅ
あっ
夜更け過ぎに
発情がおさまるまで
うっ
うっ
慰め続けるしか
ありませんでした
ぽ～
ぽ～


また
神社に行って
子宝を願ったのは
友人のためだから
呪いを解いて
ほしいと
頼みました
でも
それからも
毎晩
ぎゅ・・
時間になると
発情して
しまうんです

そんな
ことが…
ではこの先
子を宿すまで
お前は――
カチッ
カチッ

ボーン
ボーン
ボーン
ボーン
あ…

…っ
ぞくっ
ぞくっ

…時間です
こんな…姿
はっ
はぁ

兄さんに
見られたくないので…っ
……

お願い
早くひとりに——
沙耶

こんなに
苦しそうな
お前を
放っておける訳
ないだろう
・・っ
無理だ
沙耶
俺に任せて
くれないか？

自分でするより
俺の方が
きっとお前を
善くしてやれる
でも…

……

沙耶
頼む

嫌がることは
絶対にしないと
誓う

あ…
ゆっくり…
いいこだ

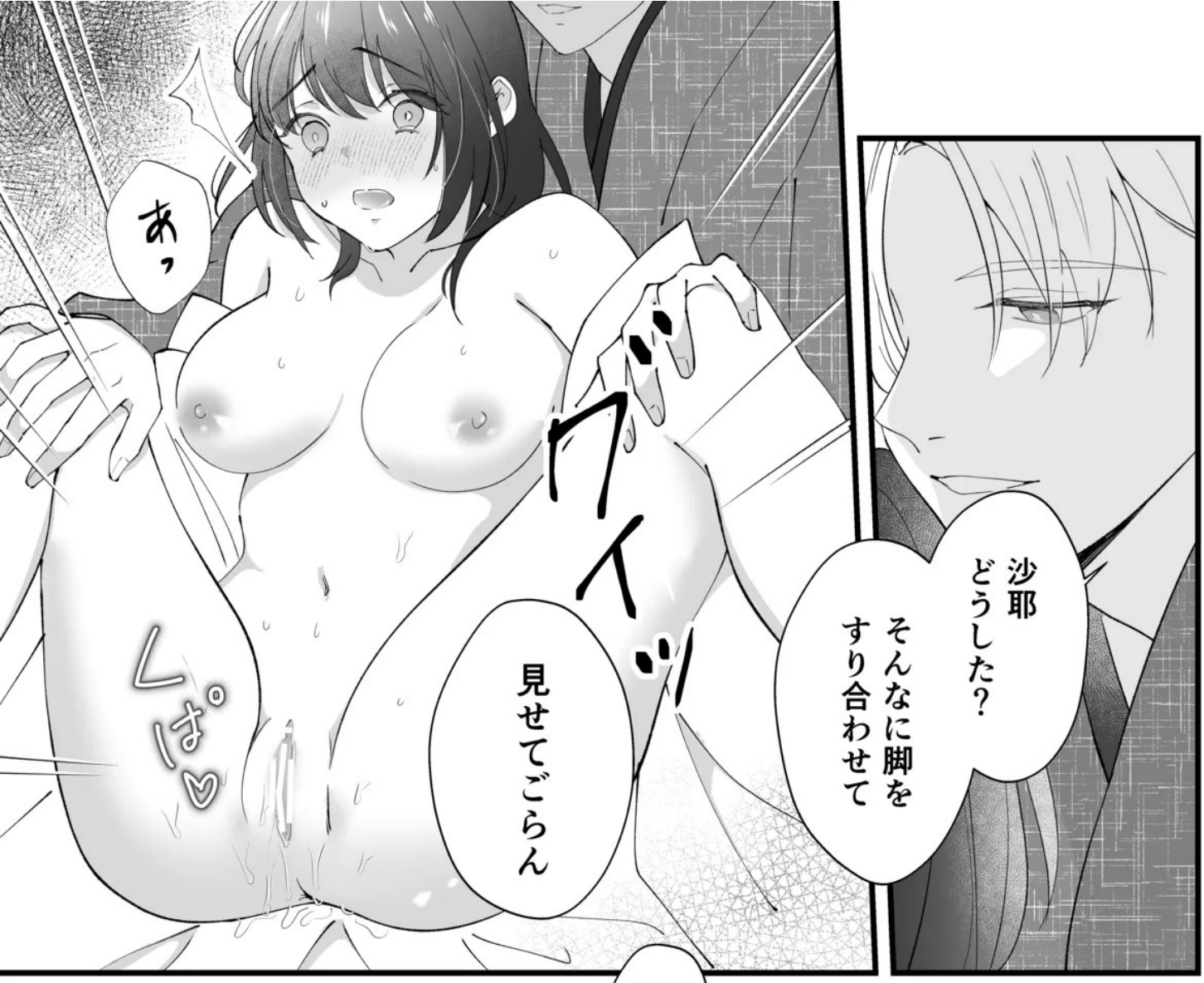
どこもかなり
感じやすくなっているようだな
お前は柔いな…

スリ
スリ
んッ♥
ぴくっ♥

刺激が強いか？
は…い
ぴくっ♥
少しずつ触れるようにするから
ス…
スリ
ゆっくり慣らしていこう
ぴくっ♥

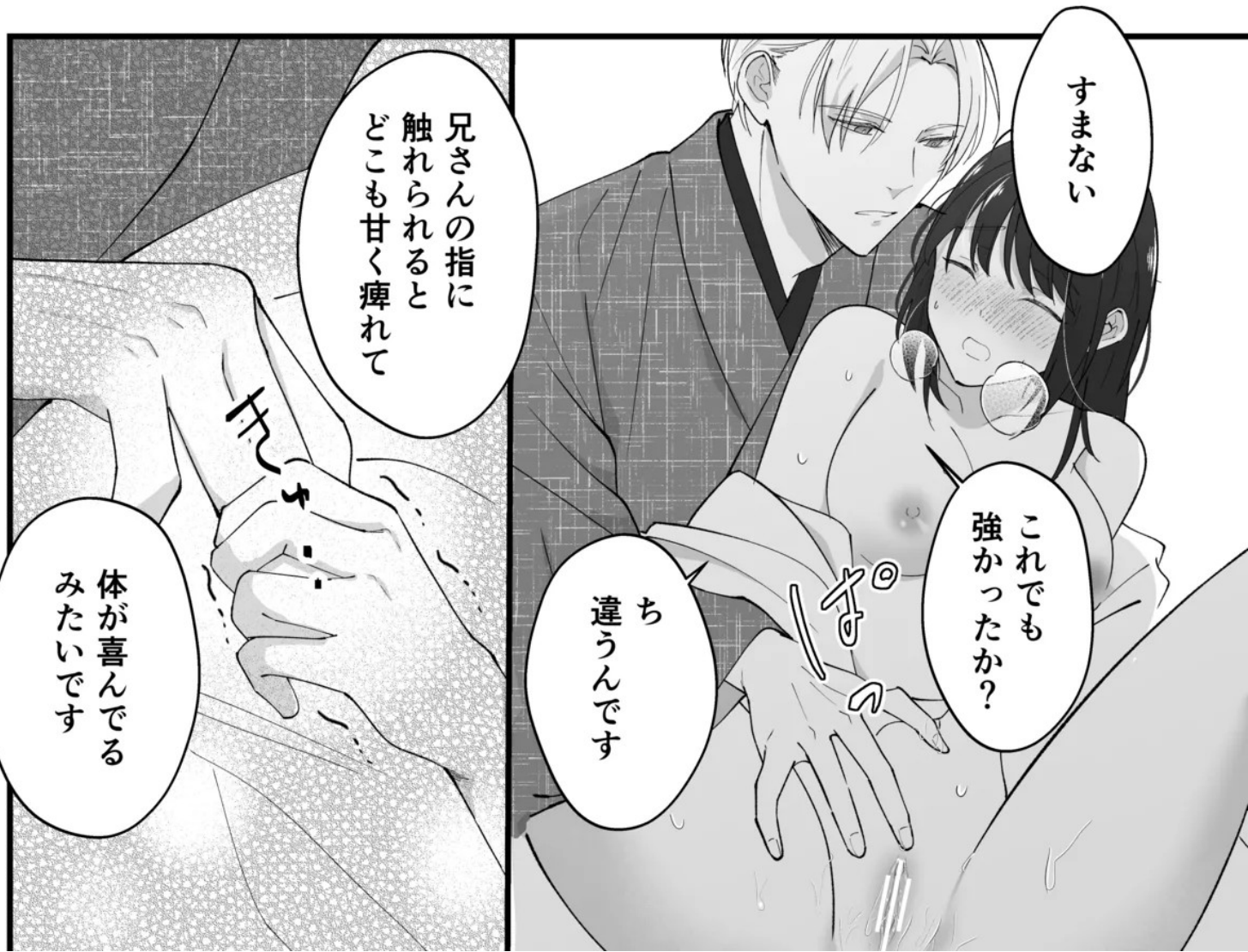
あっ
可愛い声が出てきたな
甘い声でささやかれて
ぴくっ
ビクン
あぁっ
あ
上手に快楽を受け入れられているようだ
すりすり
すりすり
優しい刺激を与えられて
苦しさが快楽に塗り替えられていく

お前の声は耳に心地よくて
でもやっぱり気持ちよくなればなるほど
うずうず
もっと欲しくなってしまう
うずうず
ずっと聴いていたくなる

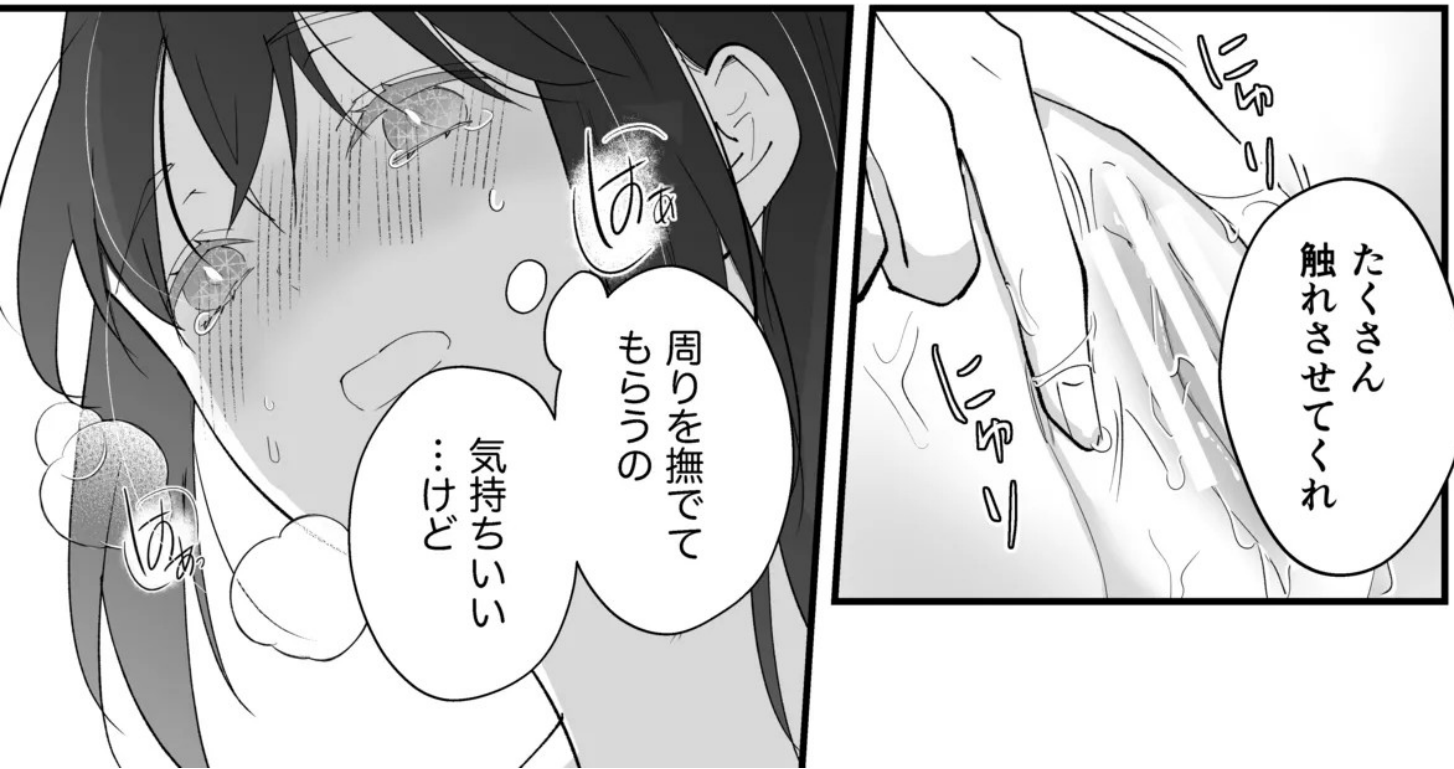

あっ
クイッ
しぱ♡
沙耶
どうした？
そんなに脚を
すり合わせて
見せてごらん

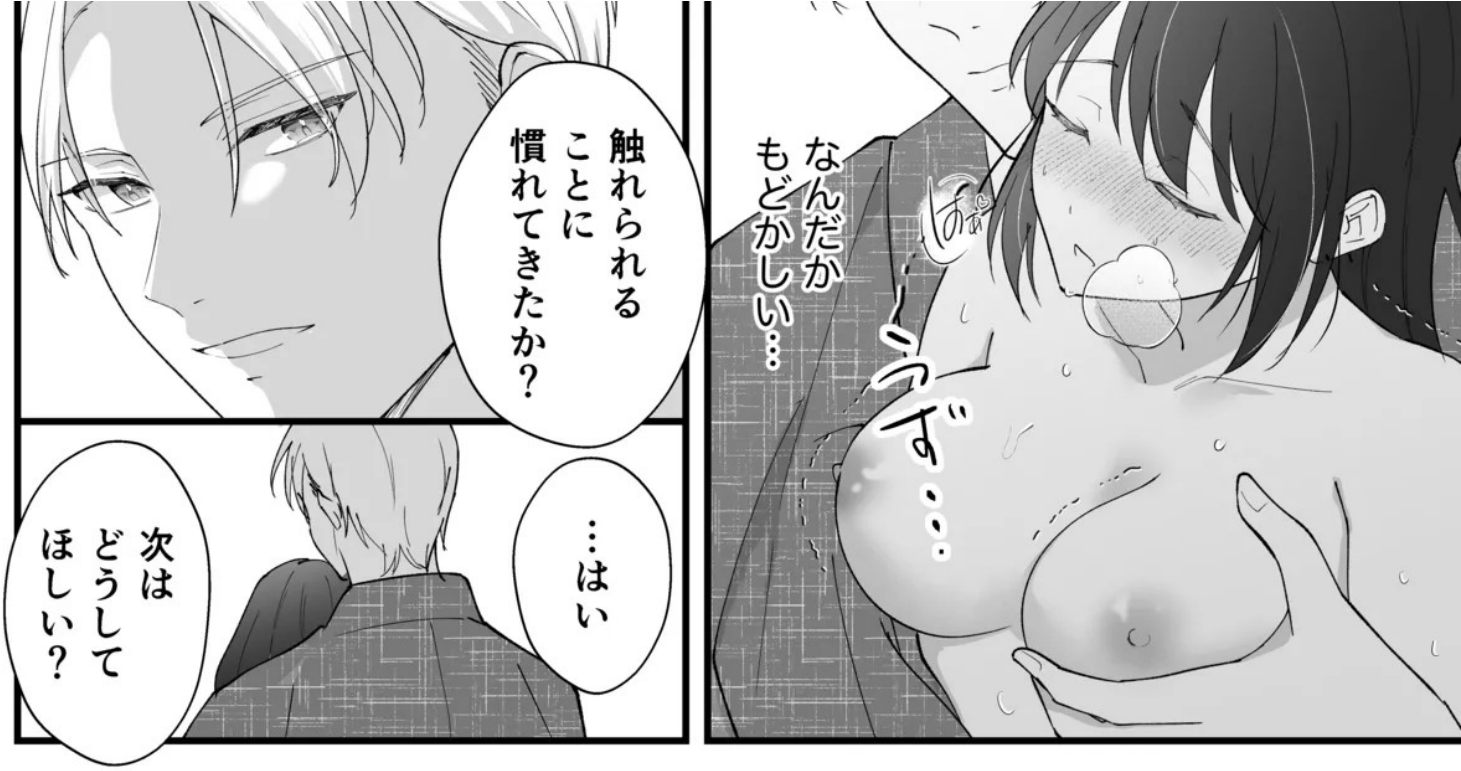
ああ
こんなに
滴らせて
いたのか
ここまで
放っておいて
可哀想なことを
してしまったな
あ…
だめ…

ぐぐぐ
ぐぐん
ずぶ…
ぬぉっ♥


すまない
これでも強かったか？
ち違うんです
兄さんの指に触れられるとどこも甘く痺れて
くちゅ…
体が喜んでるみたいです

どうすれば
もっとお前を
善くしてやれるのか
お前を
喜ばせて
やれるなら
俺も嬉しい
その可愛い
反応で
教えてほしい
スリ…
ギュッ


たくさん
触れさせてくれ
にゅり
にゅり
周りを撫でて
もらうの
気持ちいい
…けど
はぁ
はぁ


なんだか
もどかしい…
触れられる
ことに
慣れてきたか？
…はい
次は
どうして
ほしい？

あ…の
ふくらんだ所に
また…触れて
ほしいです
ああ
触れてやろう
ちゃんと言えて
偉かったな

あぁっ
あっ
あっ
兄さん…
お腹にじんじんするの…
集まってくるみたい…っ
にいさ…っ
体が変で
怖いの…っ
沙耶
少し強くするぞ
あっ
あっ
あっ

沙耶
大丈夫だから
何もかも
俺にゆだねて
あっ
果てなさい
きゃんっ♡

あぁ
はー

偉かった
上手に果てたな

果てれば治まるのか…

沙耶
辛かっただろう

ぱち
いつの間に眠ったんだろう

スー
うーっ
おはようございます

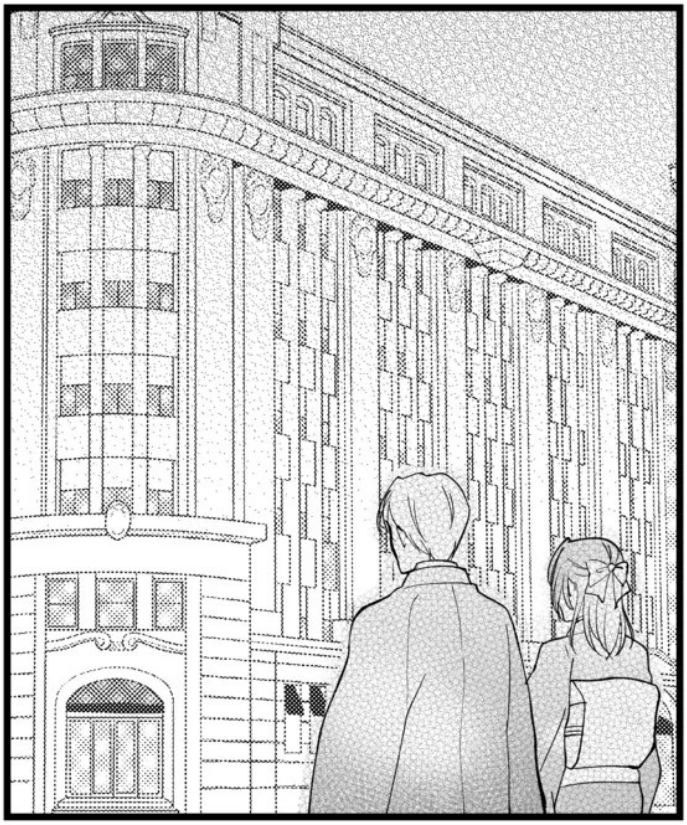
おはよう
昨日は
よく眠れたか？
今日は予定通り
午後から
商談だから
準備を頼む
わかりました
あ…
は、はいっ
それなら
よかった
あんなことが
あったのに
兄さん
いつも通りだ

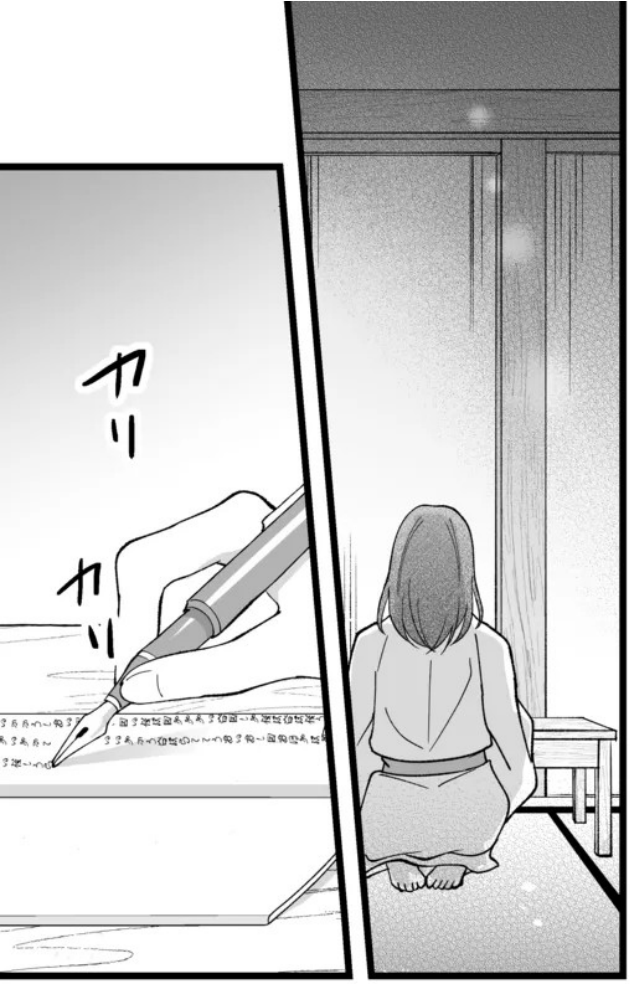
何だか
昨夜のことが
夢だったように
思えてくる
兄さんがあの
綺麗な指で

……
私に
触れて――
ドキ
ドキ

沙耶
どうかしたか？
コト…
いえっ
何でも
ありません

今は
仕事に集中！
ぱくぱく




カリ
カリ

商談
上手くいって
よかったな
トン…

もう
こんな時間

沙耶
今夜は―
トキ…

入るよ
はいっ

そろそろ時間だな

今日は疲れただろう
おいで

こんなことになって
一人で耐えるしかなくて辛かったな
お前は小さい頃から我慢強くて
なで
周りに心配をかけないように振る舞うことが多かったが

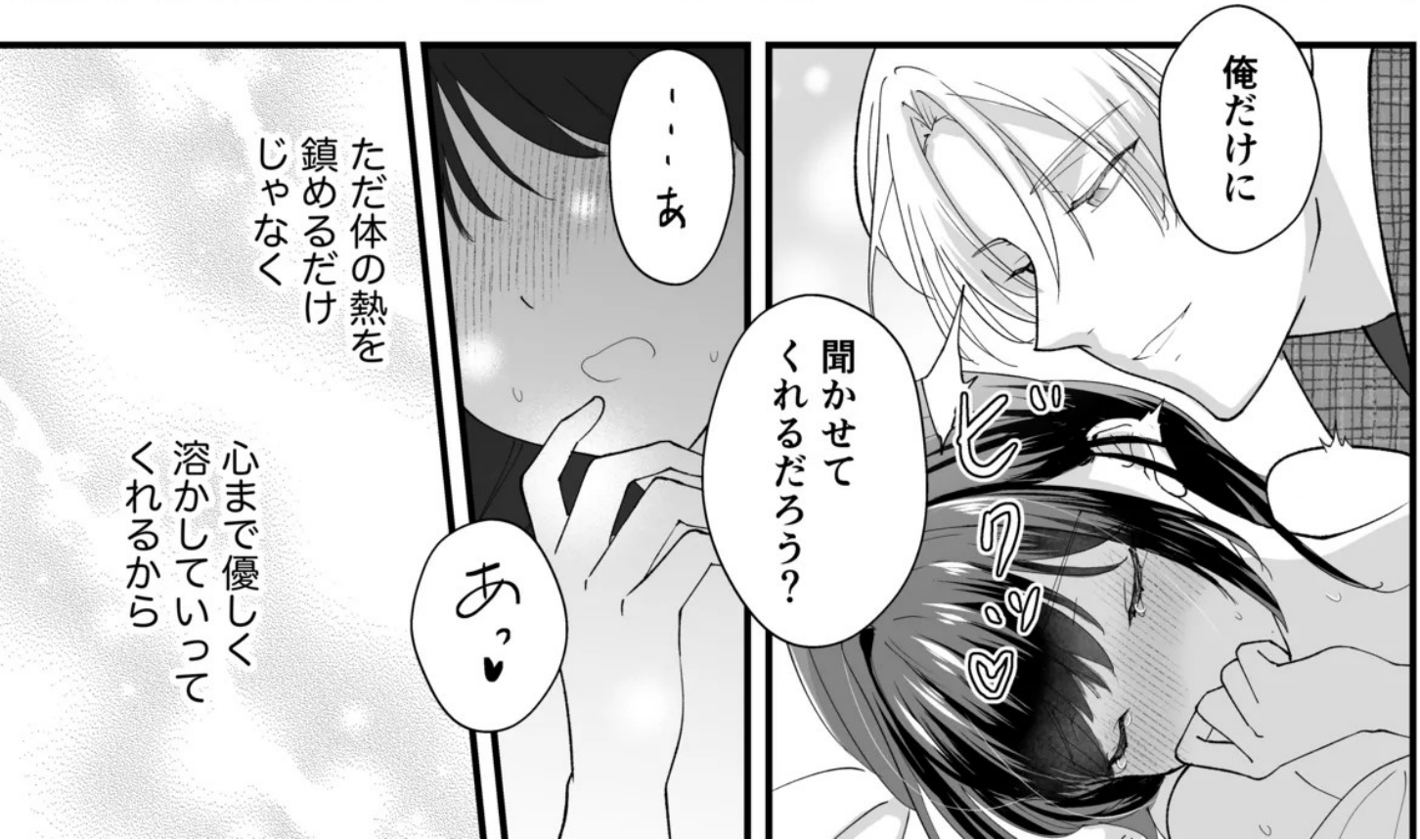
俺のわがままだとしても
お前を一人で苦しませたくない
俺にはいくらでも甘えていいから

それから
毎晩
兄さんは部屋を
尋ねてくれる
ようになった
う…
時間になるまで
安心させるように
抱きしめて
くれた後
発情が
始まれば
はあ
ビクッ
ビクッ

どこまでも優しく
労わるように
慈しむように
ゆっくり
触れていってくれる

初めは兄さんに
こんなことを
させるのが
申し訳なくて
ん…
ん？
くちゅ
くちゅ
肌を晒すことも
乱れた姿を
見せることも
ん
何もかもが
恥ずかしくて
ん♥
沙耶
今日は
可愛い声を
聞かせて
くれないのか？

素直に
うぅ…
甘えられ
なかったけど
ん？


俺だけに
聞かせて
くれるだろう？
ヒクッ♡
…あ
あっ♥
ただ体の熱を
鎮めるだけ
じゃなく
心まで優しく
溶かしていって
くれるから

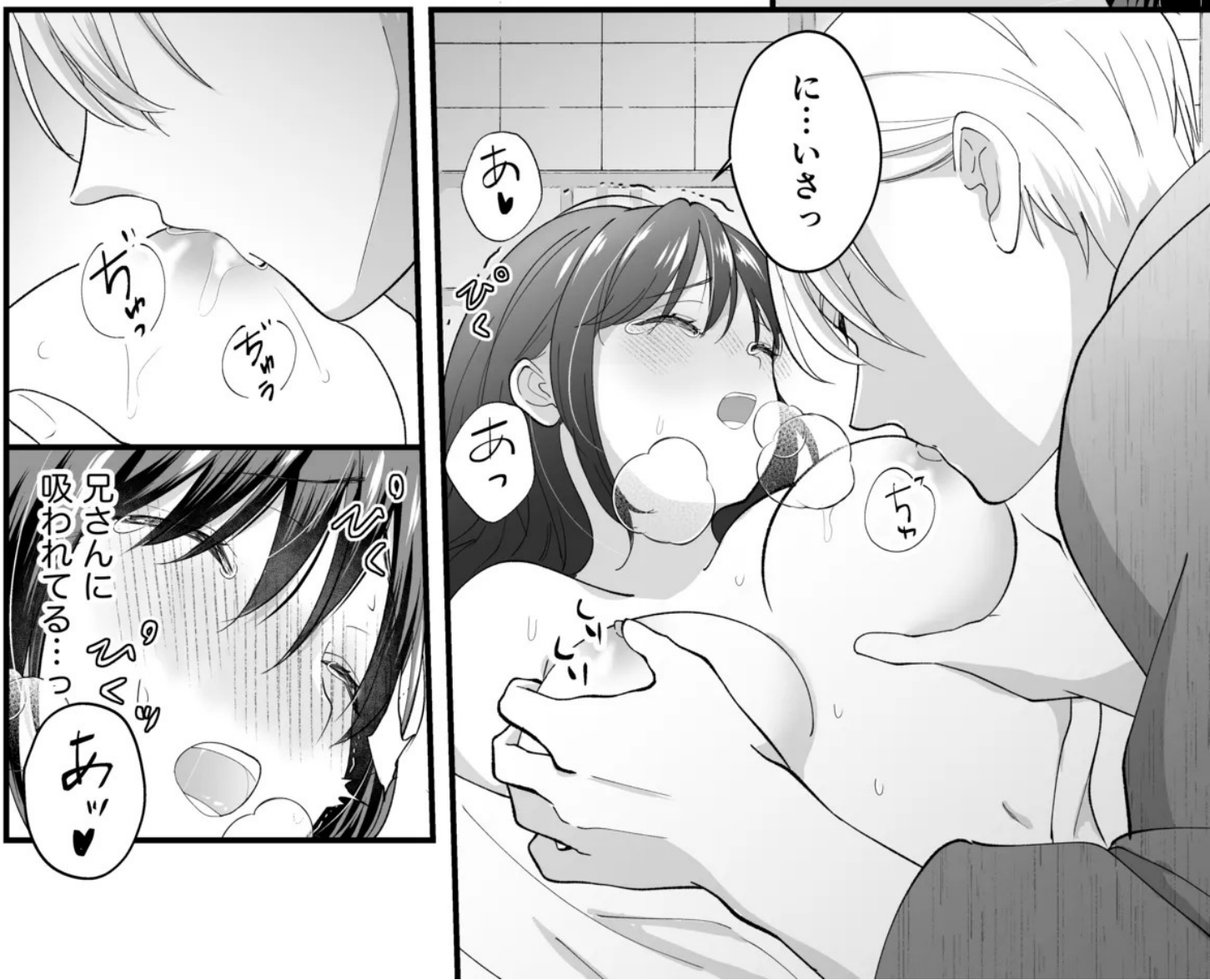
にいさん…
きもちいい…
日を追うごとに
少しづつ
自分の想いを
伝えられる
ようになった

私…呪いが
かかってから
ずっと
夜が来るのが
怖かったんです

沙耶
甘えてくれて
いるのか？
嬉しいよ

でも兄さんが
甘えていいと
言ってくれたから
何も怖く
なくなりました
沙耶
本当に
いじらしいな
お前は
もっと
善くして
やりたい
今日は
口を使っても
構わないか？

くち
は
い…
ドキ
ドキ
んっ…
ちゅ
びくッ
ぐぐ〜
びくッ
あっ


に…いさっ
あ♥
ぴく
あっ
ちゅ
ちゅっ
ちゅぅぅ
兄さんに吸われてる…っ
ぴくぴくぴく
あッ♥

どこに触れても
お前は
可愛いらしく
応えて
くれるから
かりかり
あッ
もっと反応を
引き出したくて
つい
ぐしぐし
いろんな
場所を
試してみたく
なってしまうな
くぱぁ
そこっ
だめぇ
ビクンッ
兄さん
だめ…っ
ぐちゅ
あぁっ

そんな風にされたら
すぐに果ててしまいます
果てていい
早く楽になりたいだろう？

そうだ
兄さんはそのために
こうしてくれてるだけなんだから
手を煩わせるようなこと
しちゃいけないのに

私…少しでも長く兄さんと過ごしていたくて
変な…声が出たり
おかしな姿を見せてしまうのが恥ずかしくて

お前が
おかしな
姿を見せても
何も
損なわれたり
しないだろう
ぢゅ
あぁっ
どんなに
乱れた
としても
はしたなく
喘いで
いたって

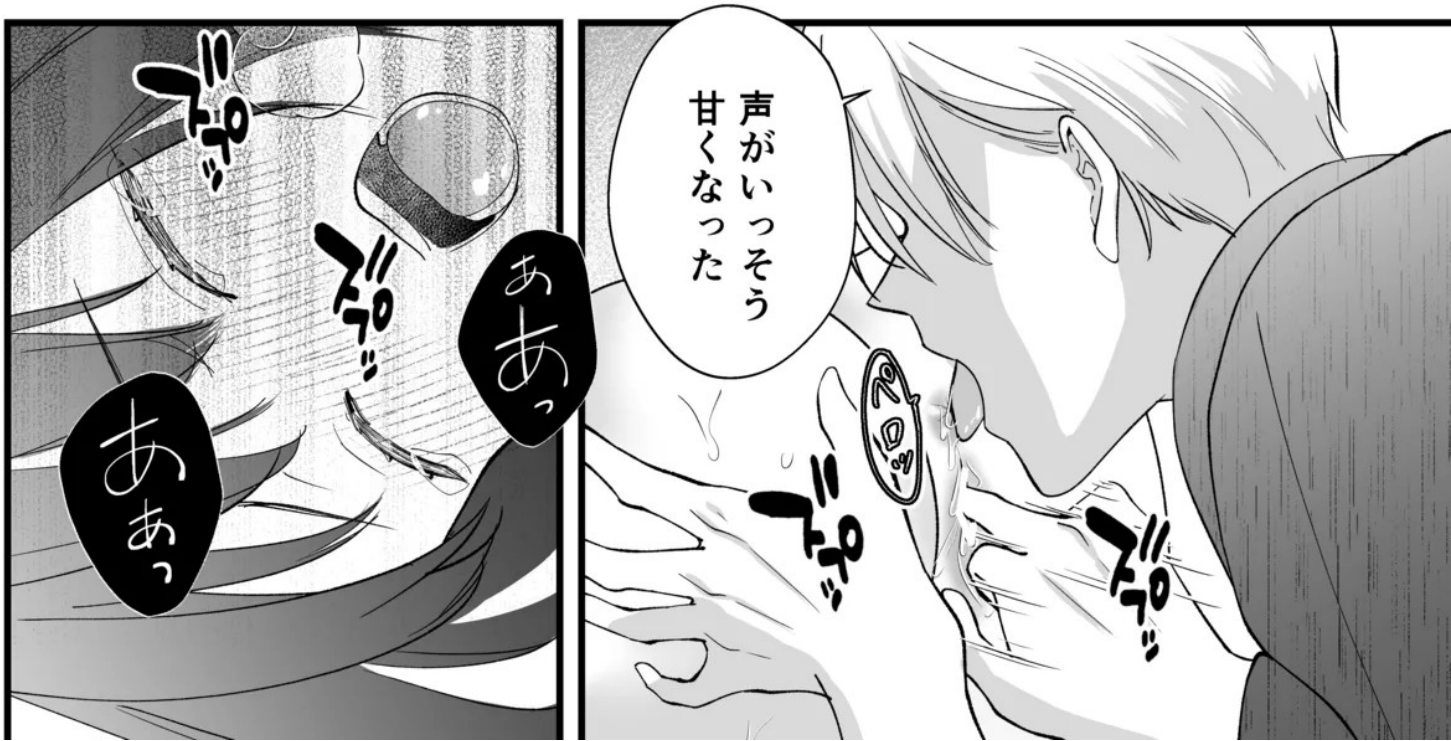
お前は
この世で
一番綺麗だ
どうして
そこまで
言って
くれるの？
あっ
あぃ
そんな風に
心も体も
甘やかされて
しまったら

気持ちを
にい…さ
抑えられなく
なる――
抱い…て
っ――
…沙耶
膣内(なか)が
疼くのか？
もっと
脚を開いて
自分で広げて
見せてごらん
ドキッ

兄さ…ん
くぱぁ…
ひくッ
恥ずかしいです
ここは、お前が
恥じらうほど
卑猥に動いて
誘っている
ようにしか
見えないがな
ちょん
ああっ
ビクン
ああ
すごいな
絡めとるように
吸い付いてきて
あっ
あい
ビクッ
ビクッ
自らの意思で
飲み込んでいる
かのように
簡単に入って
いってしまう
あぁっ
ずぷぷ…

ぐぐっ
きゅうぅぅん♡
ほら
奥まで届いた
んッ
ふッ
ふッ
私の膣内に
兄さんの指
入って…るっ
トン♡
とろ…♡

ん
ずっちゅ
ずっちゅ
ああ
ん
あぁっ
ここが
善いようだな
あっ
あっ


声がいっそう
甘くなった
ぺろっ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
あぁっ
あぁっ

ほら
沙耶
あッ
ぐりぐり
じぃ
はあッ
我慢
しなくて
いい
あぁッ
あ
ぜぇ

膣内(なか)から
果てるところを
俺に
見せてくれ
じゅぷ
じゅじゅ
プシッ
ぐぐぐぐぐぐっ
ぜぇ

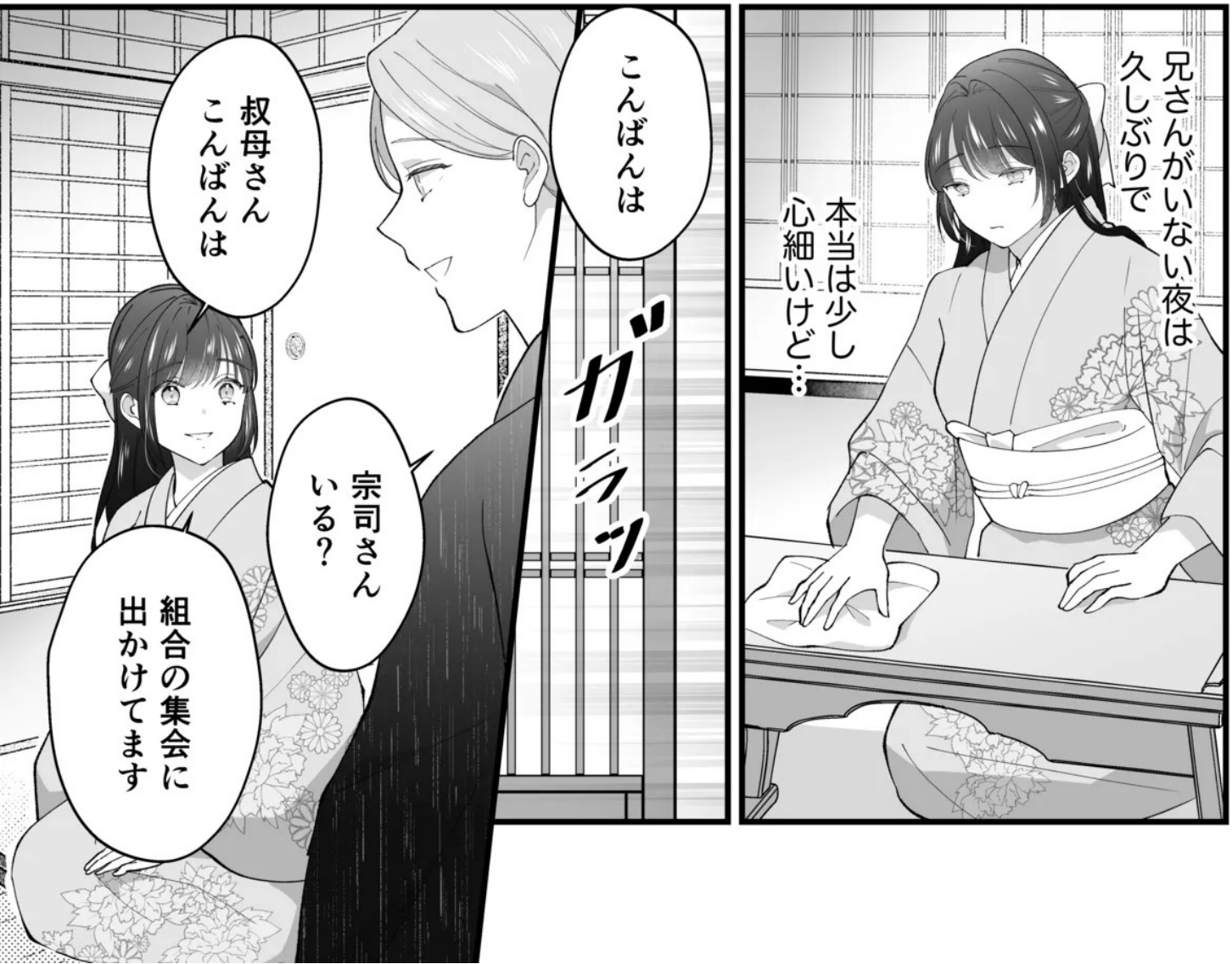
びくんっ♥
はぁ♡
あぁ
はっ♡

沙耶…

応えてやれなくて
すまない…

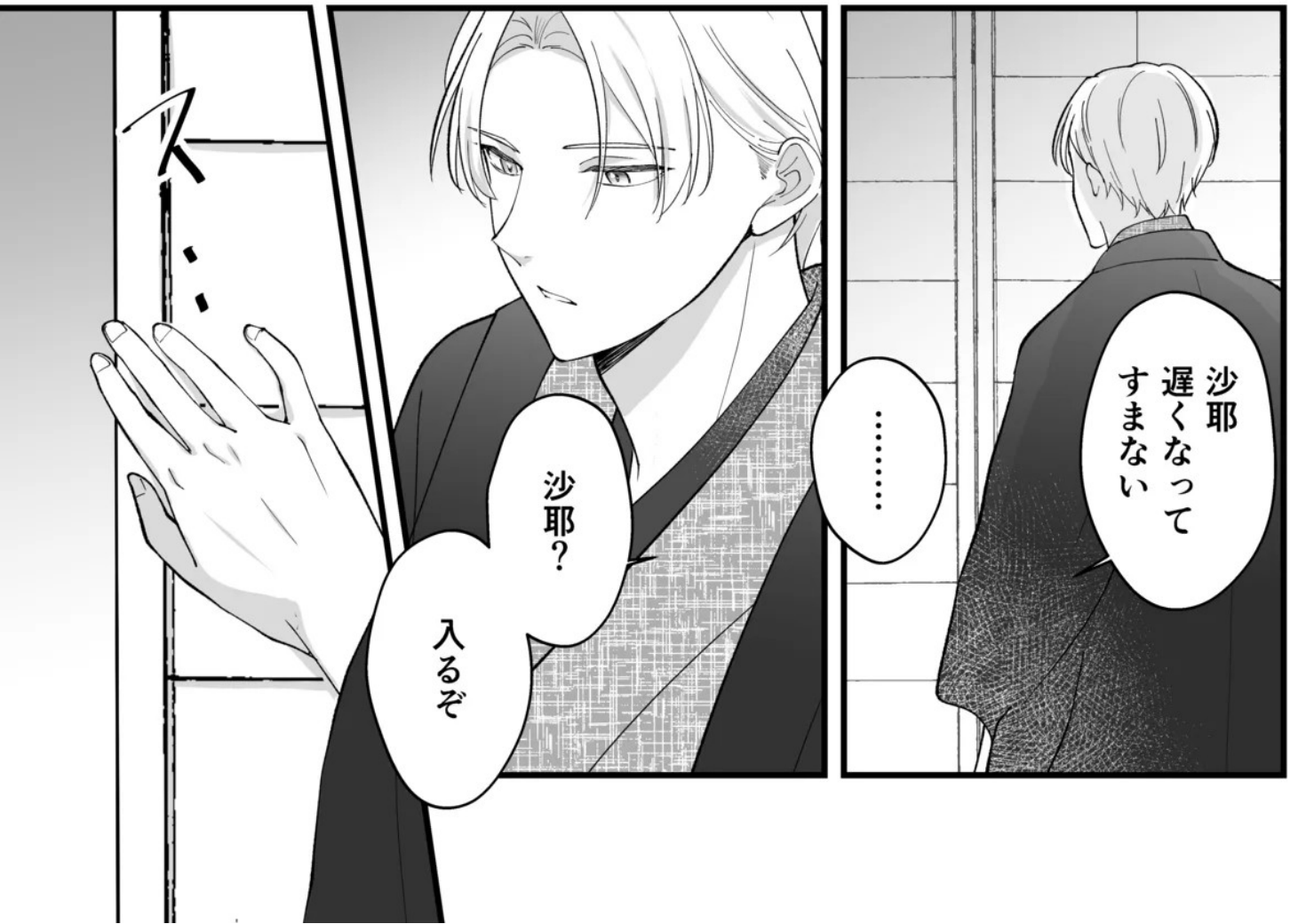
それじゃあ
行ってくる

少し時間に遅れるかもしれないが
出来るだけ早く帰るから
大丈夫です
お気をつけて
さくや…

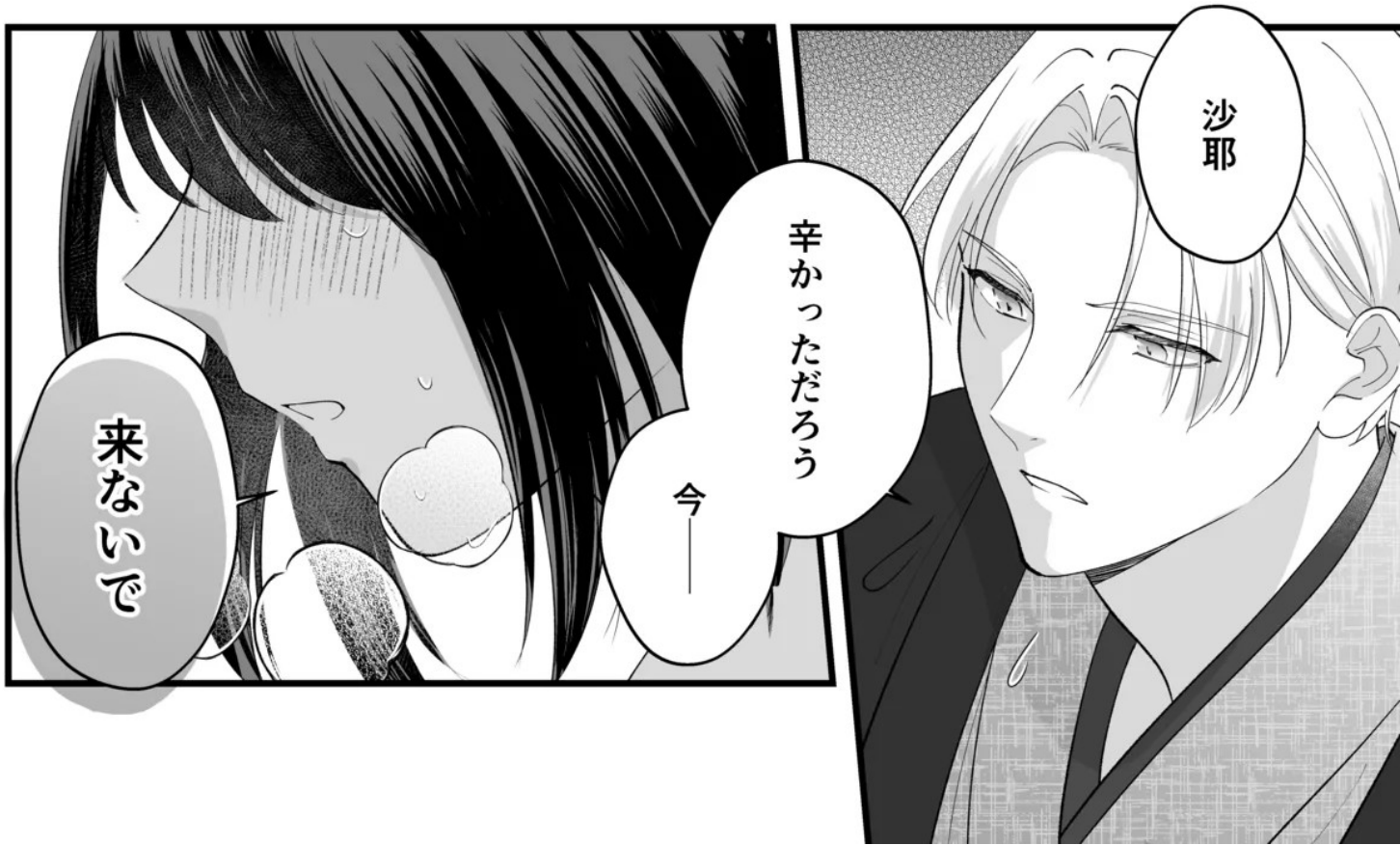

兄さんがいない夜は久しぶりで
本当は少し心細いけど…
こんばんは
ガラッ
叔母さんこんばんは
宗司さんいる？
組合の集会に出かけてます

沙耶ちゃんでもいいわ
お見合いのことなんだけどね―
え…？
お見合い…ですか？
沙耶ちゃんへの縁談の申し込み
宗司さんずっと保留にしてたでしょう？
それを今日進めて欲しいと連絡が来たから
沙耶ちゃんが承諾したんだと思ったのに
そんな
ぎゅ…
沙耶ちゃん何も聞いてなかったの？
どうして…
私が
抱いて
あんなこと言ったから？

兄さん…
私のこと
嫌になったの？
勘違いしちゃ
いけないって
分かってた
はずなのに
兄さんの優しさに
甘えすぎて
超えては
いけない線を
踏み越えて
しまったんだ


沙耶
遅くなって
すまない
……
沙耶？
入るぞ

はぁ〜
くにっ
くにっ
はぁッ
ろいろっ
うっ
くいくい
くちくち
くちっ
くちゃ
くちッ

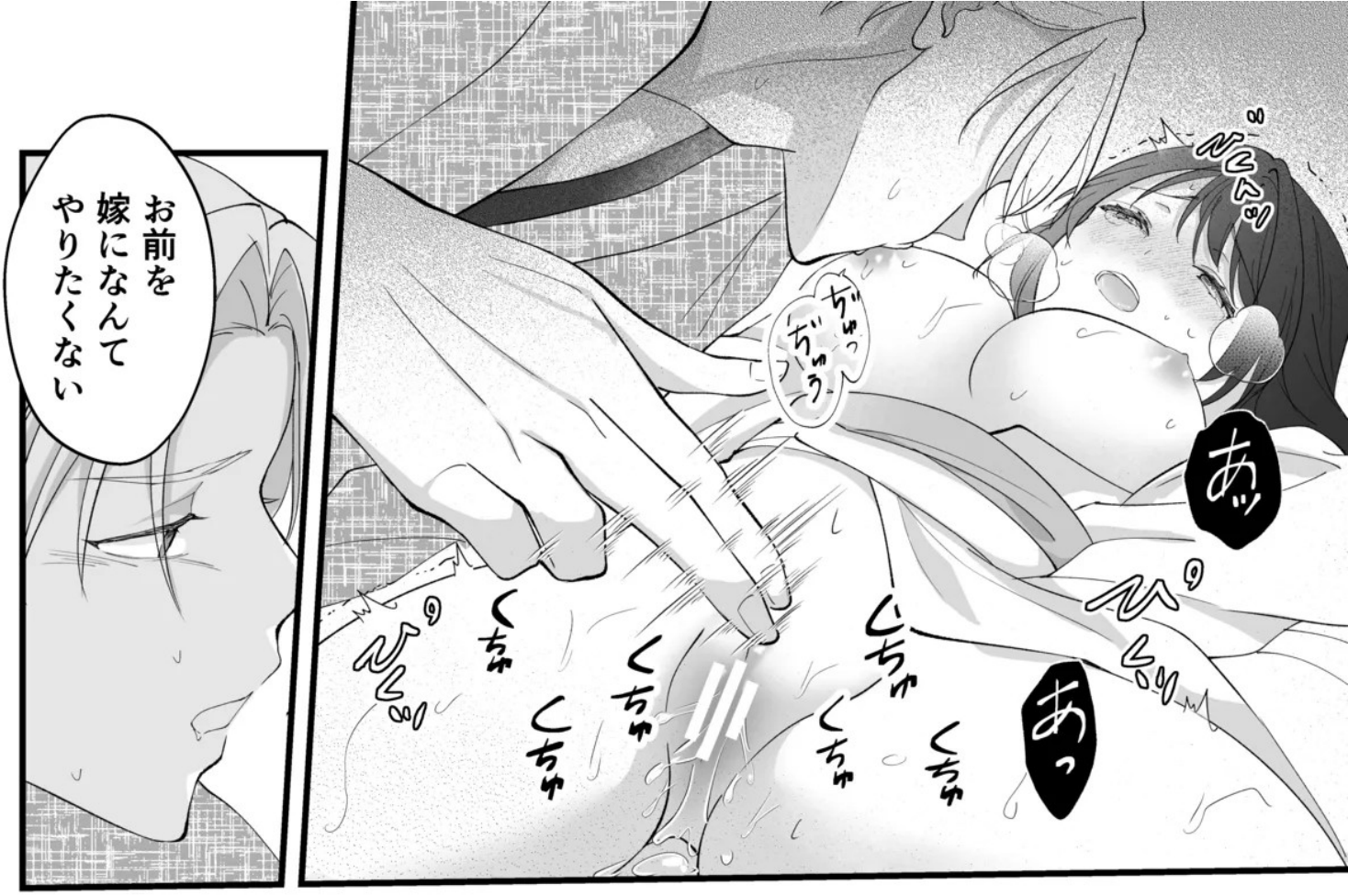

沙耶
辛かっただろう
今——
来ないで

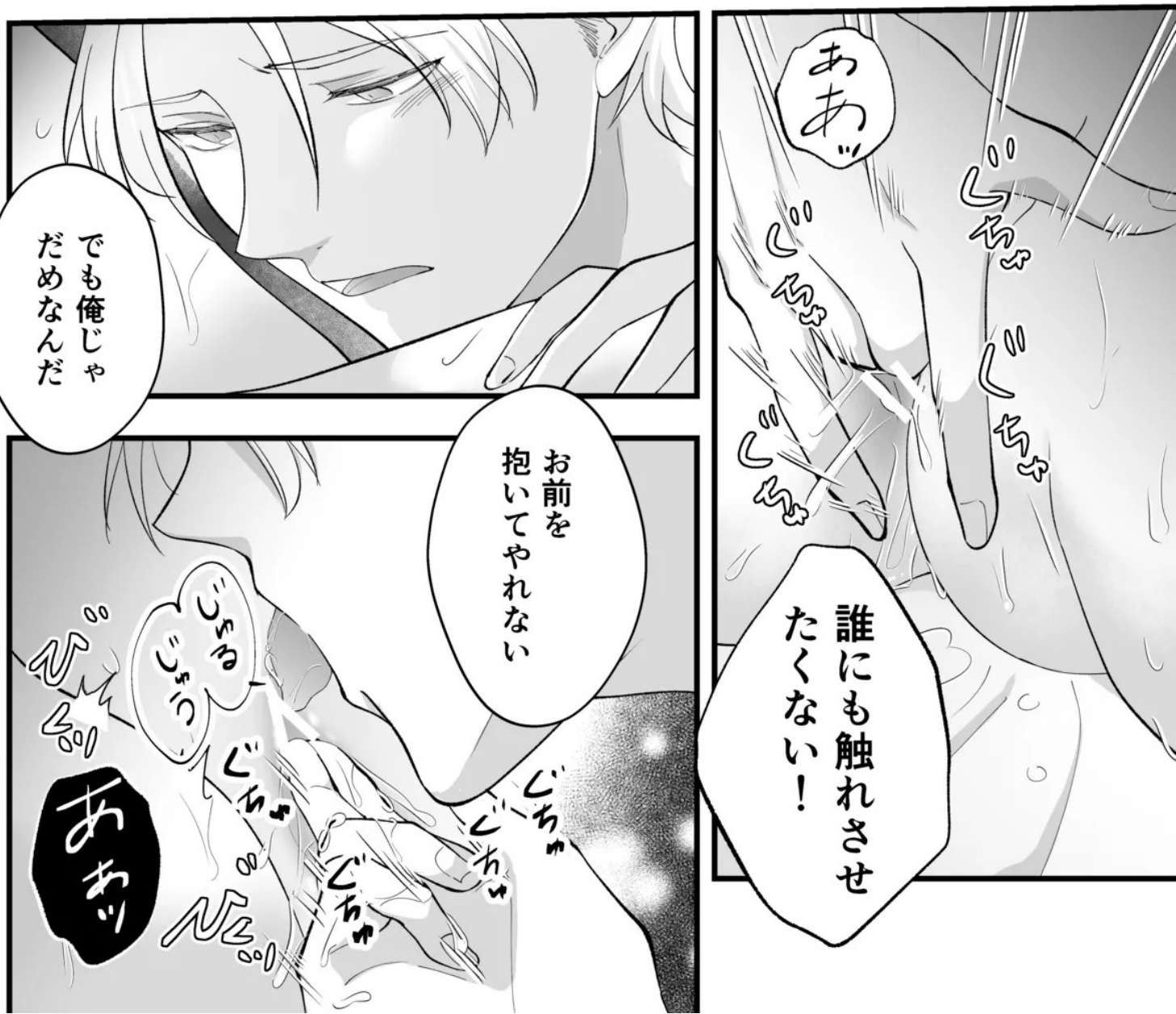
沙耶…？
私
ひとりで
できます
はぁ
はぁっ
もう
兄さんに迷惑
かけません
苦しい
兄さんと同じように
やっているのに
どうして果てられ
ないんだろう
だから——
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ

わたしを
お嫁に…
行かせないで
ください…っ
兄さんが
好きです
この世の
誰よりも

もうわがままは
言いません
二度と
困らせたり
しません
もっと役に
立てるように
なります
だから
お願——
じっ

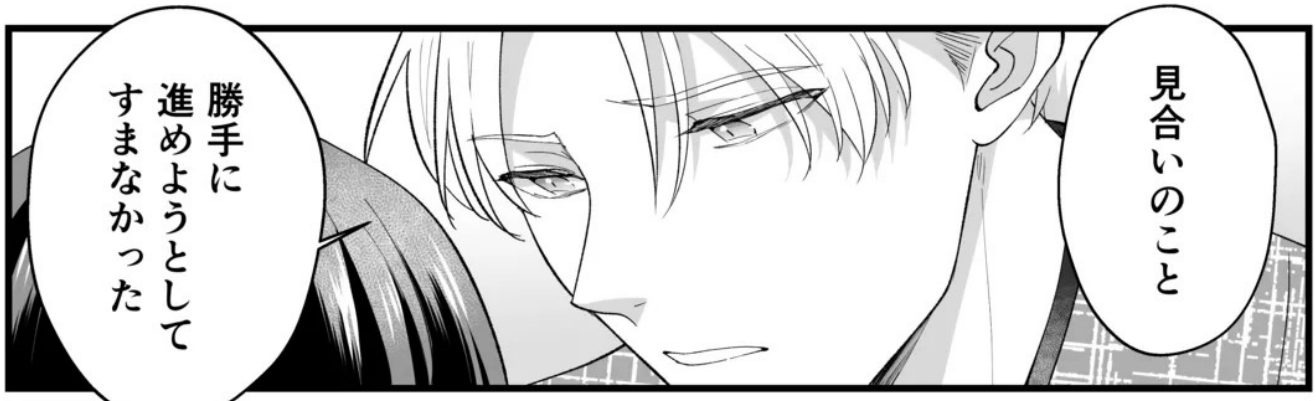
さ…やっ
んっ
はっ
んぁ
ふっ
はぁっ
んぁ…
ふぁ
んぁ
俺だって
お前が愛おしい
この世の
誰よりも

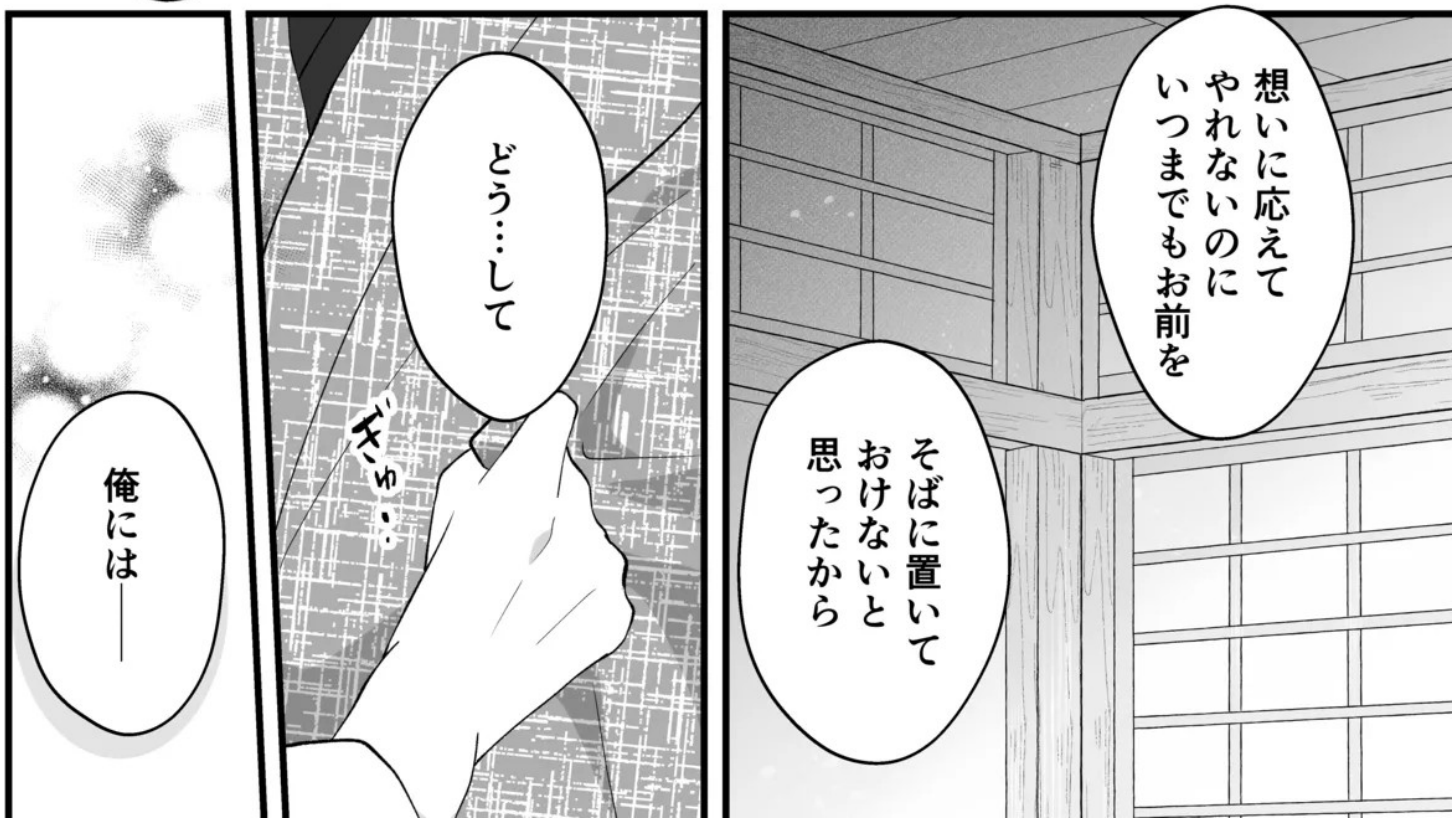

お前を
嫁になんて
やりたくない
あッ
あっ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ぐちゅっ
ぐちゅっ


でも俺じゃ
だめなんだ
誰にも触れさせ
たくない！
あぁッ
じゅちゅ
じゅちゅ
じゅちゅ
じゅちゅ
お前を
抱いてやれない
あぁッ
じゅる
じゅる
じゅちゅ
じゅちゅ
じゅちゅ
じゅちゅ

どうして
あ
ぴくぴく
ぴく
あッ
どうして…
だめなの？
ちゃる
ちゃく
ちゃく
ちゃる
どう…して…
はっ
沙耶…
はー
聞きたい…のに
もう何も
考えられない——

沙耶
兄…さん
目が覚めたか
ぱち


見合いのこと
勝手に
進めようとして
すまなかった


想いに応えて
やれないのに
いつまでもお前を
そばに置いて
おけないと
思ったから
どう…して
ぎゅっ
俺には——

お前と
同じように
呪いが
かかって
いるんだ
え…？
御しがたい
感情から
逃れたくて
祈りを捧げた
あの日から
六年前 まだ
学生だった頃
下宿先から
帰宅した折に
沙耶
土産を——

ん…
コト…
ゴろ〜ん

少女から大人へと
変容していく体を
無防備に横たわらせた
お前のその姿が
あまりにも艶かしくて
突き上げてくる
情欲を
抑えきれずに——
ドキン
ドクン
ズキッ
ドクッ
ズキン
する…
はっ
はぁ
しゅ
しゃっ
ぐちゅ
Hなっ

自分が悍ましかった——
どろ…
その後も——
兄さん
教えて欲しいところがあるんです
ああ
見せてごらん
お前が女であることを意識してしまってからは
どんなに押さえ込もうとしても湧いてくる
制御し難い欲望
体が叫ぶ
ズクン…
お前が「欲しい」と

物心つく前に
母を亡くし
多忙な父との
暮らしの中で
抱えていた
孤独を

癒してくれた
かけがえのない妹

何よりも
大切にし
守るべき存在
であるお前を

沙耶
どうした？

誰がお前を
泣かせて―

うっ…

うう

やめて
にいさん
こんな浅ましい
欲望をぶつけて
おねがい
穢してしまう
ようなことは
いたいよぉ

絶対に
あってはならない
やめっ
はあ
はあ
はっ
はあっ

もう妹に
劣情を抱くことの
ないように――
まさか
本当に願いが
聞き入れ
られるとは
思わなかったが
すがるような
想いで願った
じゃり…
俺の体はお前に
いっさい反応
しなくなり
一時はそのことに
心から安堵した
だがそれは
救いではなく
またお前を
妹として
想えると
卑俗な
行いをした
ことへの
罰だったのかも
しれなかった

兄さん！
お前との
時間を重ねれば
重ねるほど
兄さん
愛しさは
募るばかりで
兄さん
ずっと求めて
いたお前に
やっと
触れることが
できたのに
俺の体は
どうしても
お前に
反応しない
勃たない——

少しでも長く側に置きたいと欲をかいた

お前を抱けず呪いを解くこともできないのに

兄さん
私は
幸せでした
発情の苦しささえ
終わらなくても
いいと思うほど
兄さんと
過ごす時間が
兄さんが
与えてくれる
すべてが
たまらなく
嬉しくて…

沙耶…
……
…私も
謝らないと
いけないことが
あります
嘘を
吐いたこと
嘘…？
お参りに
行ったあの日
本当は
自分のための
願い事もして
いたんです

ずっと兄さんに
女として見て
もらいたかった
だから
兄さんに
女として
愛されて
身も心も
結ばれたい――

――それが私の
本当の願いです
兄さん以外に
この呪いを
誰も
解くことは
できません
そんな…

でもこれは
幸せな呪いです
本来なら
縮まらなかった
かもしれない
兄さんと私の
距離を
近づけて
くれたから
私を
想ってくれて
いるのなら
兄さん
お願いです
心変わり
するまでも
構いません
私を側に
いさせて
ください！

繋がれなくても
私にできる
全てで
兄さんを幸せに
します…から
ちゃっ

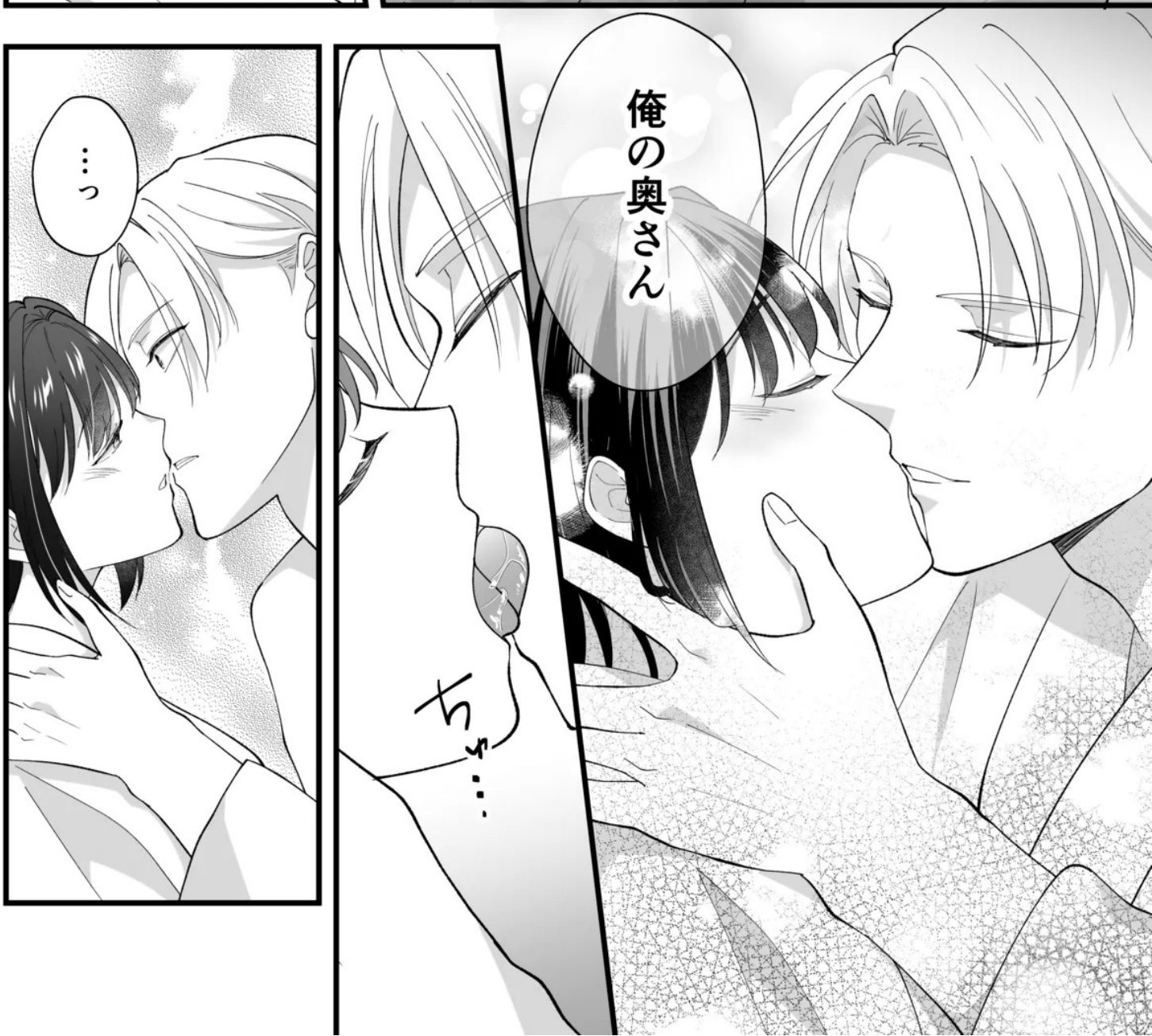
はぁ

…沙耶
俺を
諦めないで
くれて
…ありがとう

お前が俺でいいと
言ってくれるなら
もう絶対に
手放さない
…兄さん
この先
どんな困難が
待ち受けて
いたとしても
生涯をお前と
共にありたい

お風呂いただきました
ああ
おいで
お前の花嫁姿
ちゃ
すごく綺麗だった
ありがとうございます
兄さんもすごく素敵で——
沙耶
いつまでその呼び方をするつもりだ？
もう兄さんじゃないだろう

宗司…さん
ああ
末永くよろしく
オラ…


俺の奥さん
…っ
ちゅ…

体…が
ズクン

どうしました？

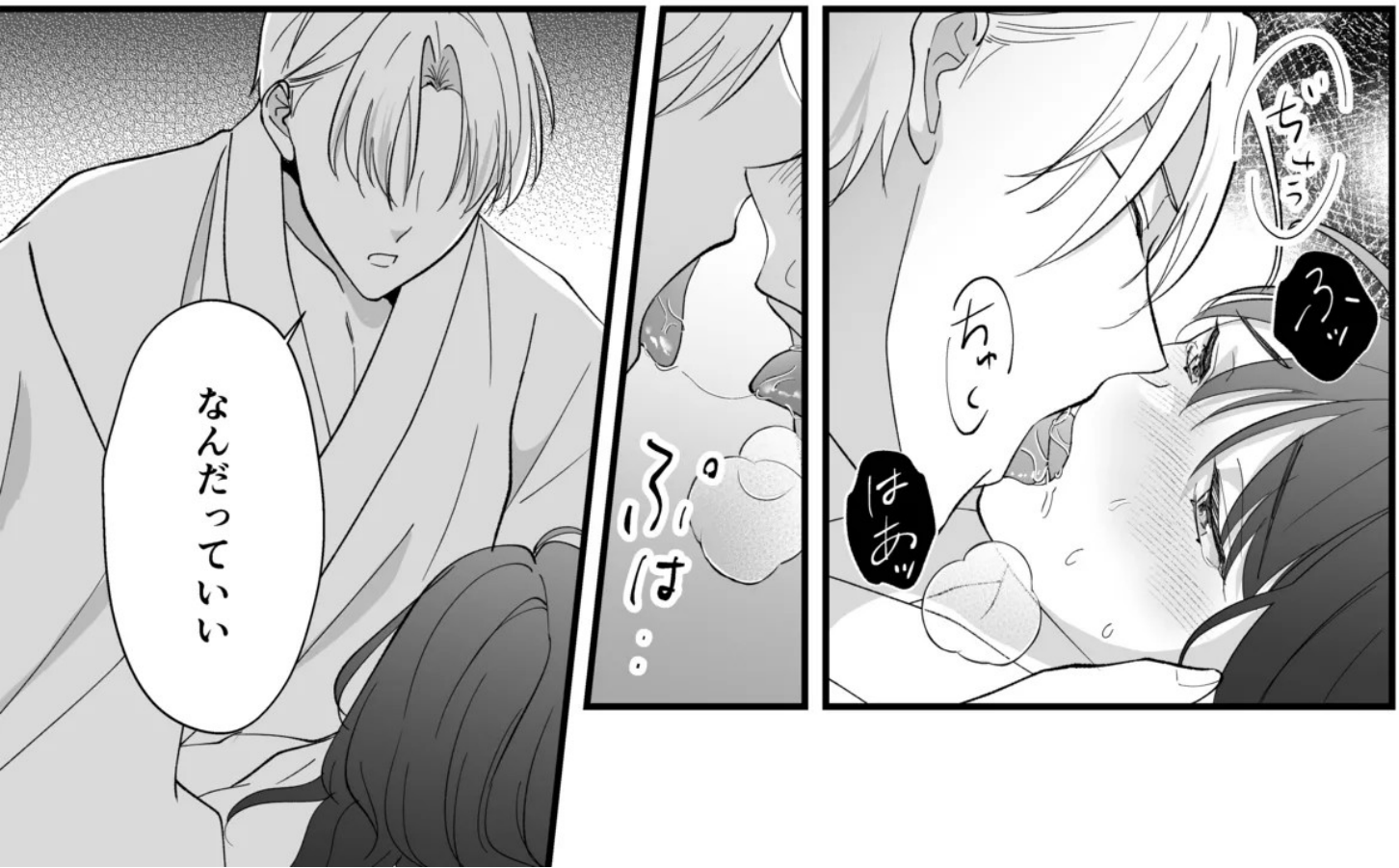
呪いが…
解けた…？

え…
ドキッ
大きく…？

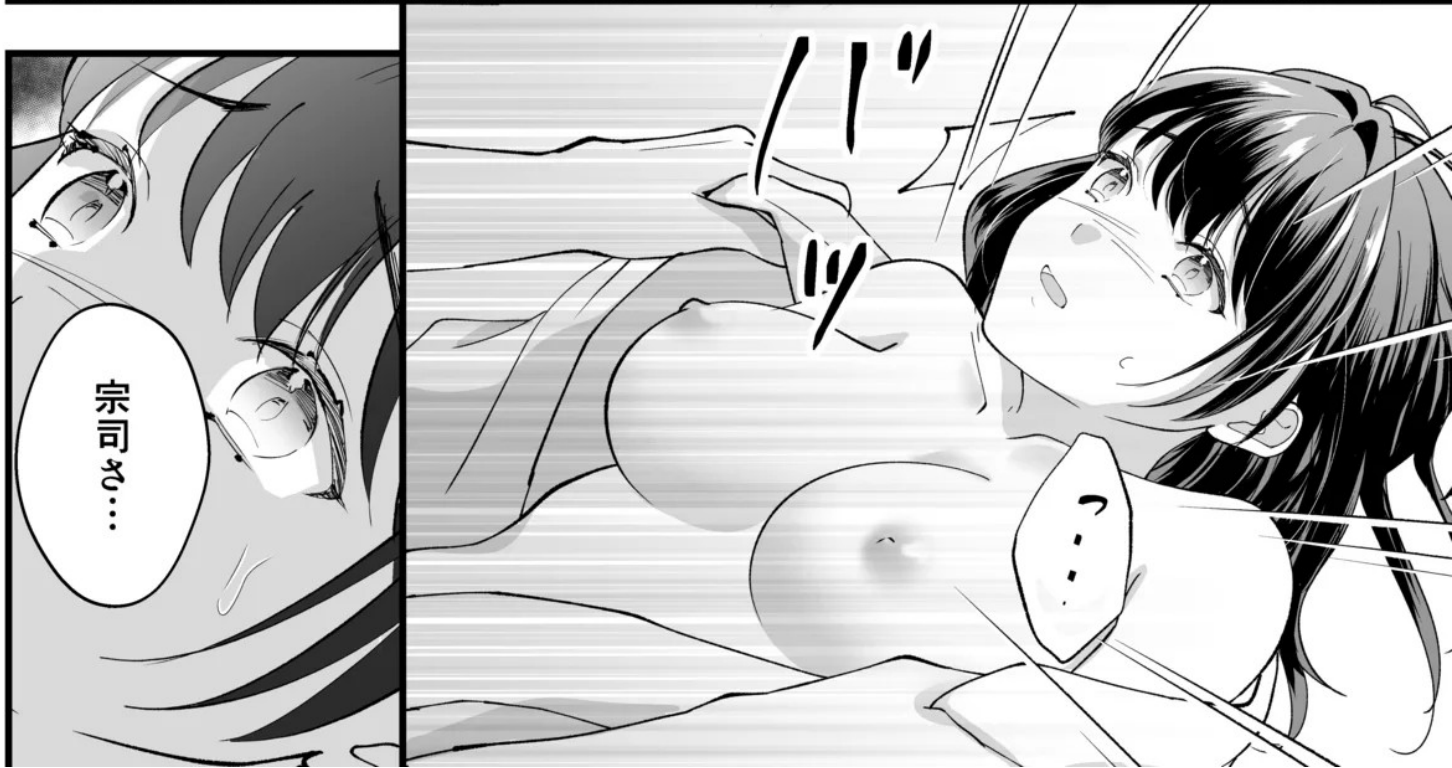
どうして急に…
今日の
この日に
祝言をあげた事と何か関係があるのか…？
宗司さんの願いは確か――
妹に劣情を向ける事のないように
私が――妹じゃなくなったから？
宗司さんもしかして――

んっ

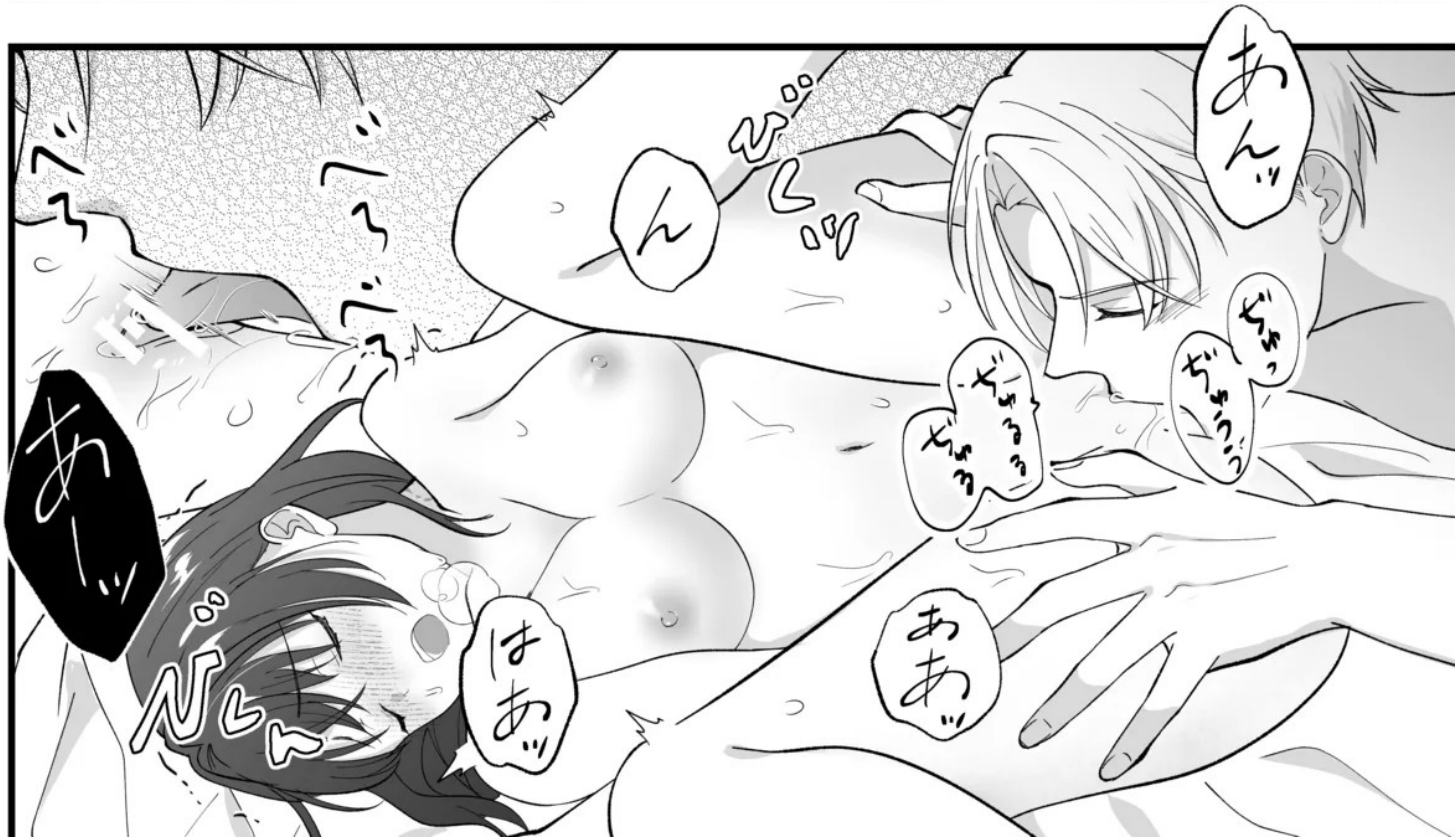
ちゅ
ん
ちゅっ
ちゅる
んッ
ろ…
ちゅる
んッ


ちゅう
ろッ
ちゅ
はあッ
ふぅ…
なんだっていい

さ…や
お前を…
しゃぶる…
ビキッ
抱ける


宗司さ…
っ…

沙耶
沙耶っ…
はっ
沙耶…
はっ
ぬるっ
ぬるっ


あんッ
ぺろ
ん
ぺろ
ぺろ
ぺろ

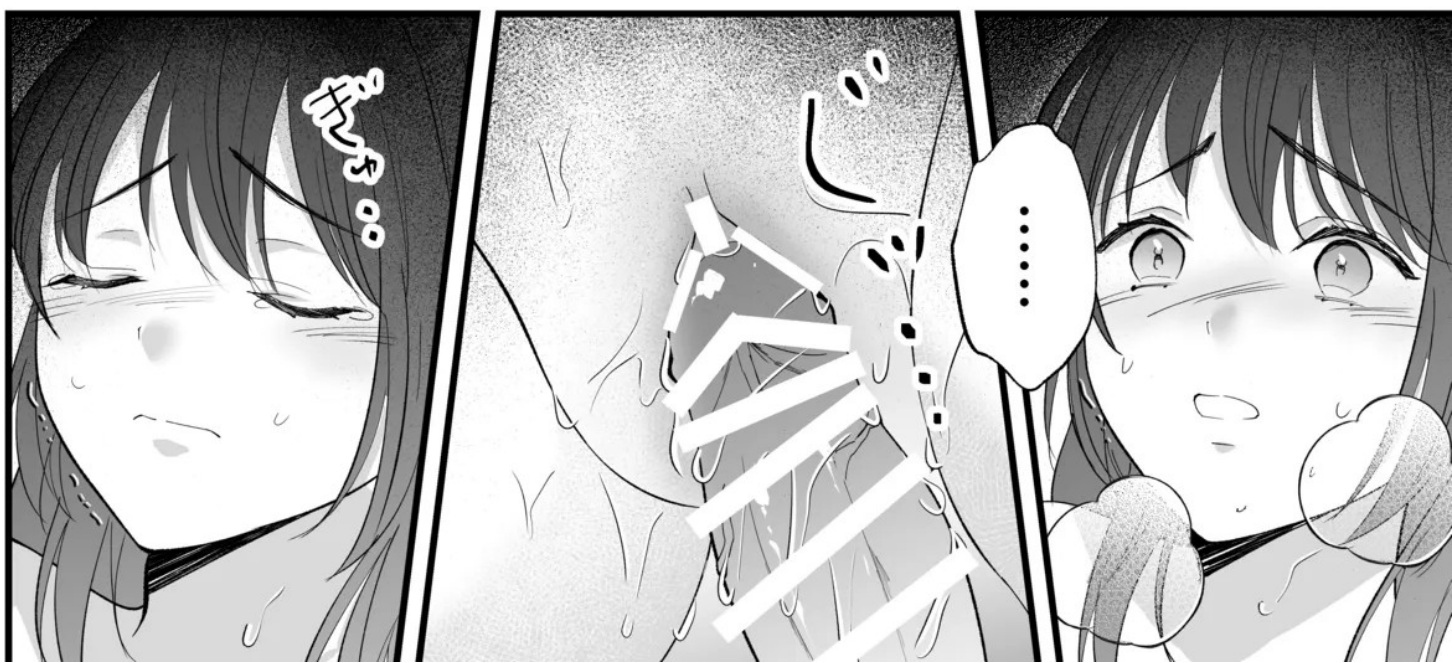
なあ
…沙耶
は
どうした
そんなに身を
固くして

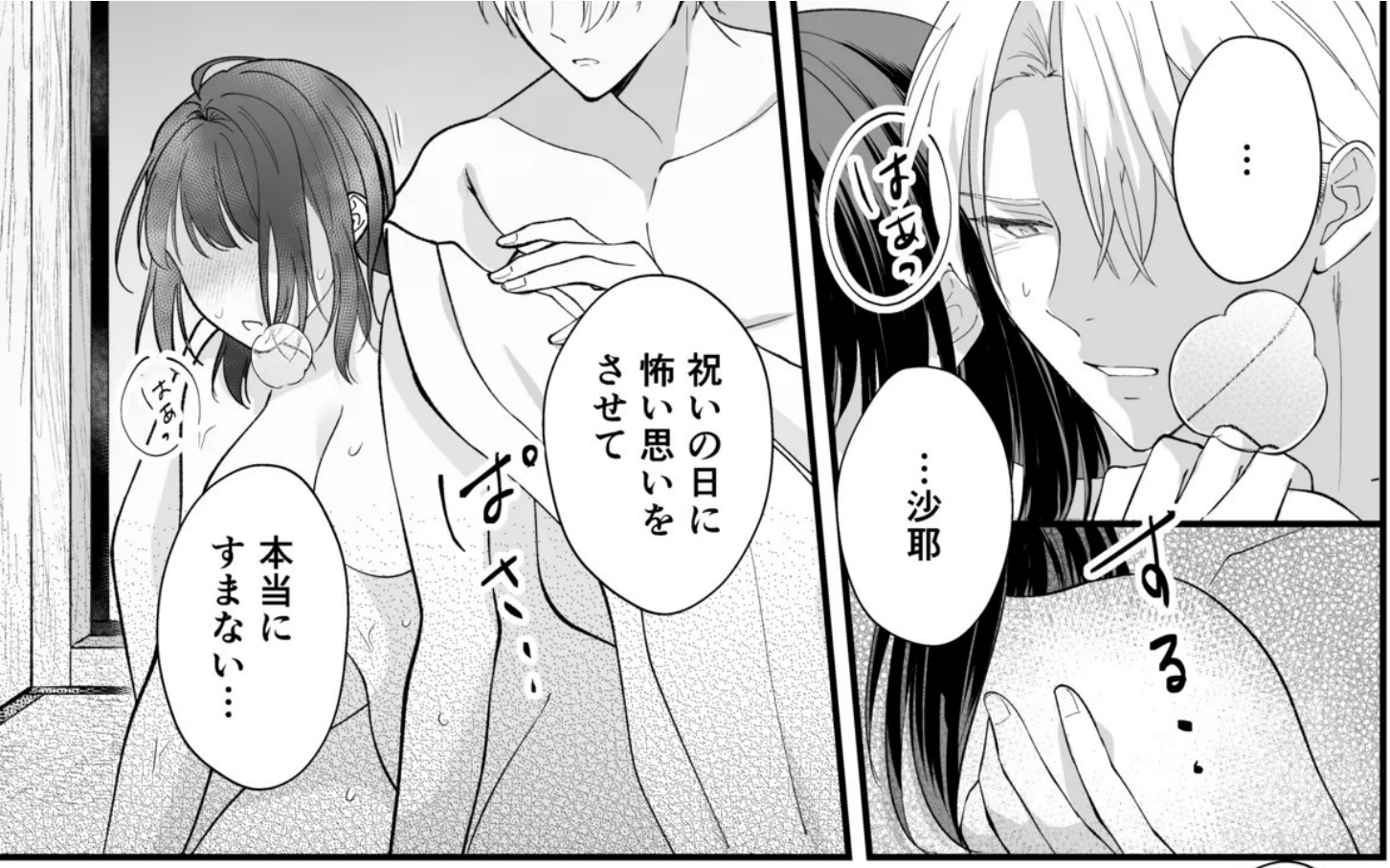
なんだか
あなたが
知らない人
みたいで

俺が
怖いのか？
……

あ…の
時間まで待って
もらえませんか？
発情すれば私
あなたを
怖がらずに——

六年待った！
！
「待て」を
させると
言うのか？
それでも
お前は俺に

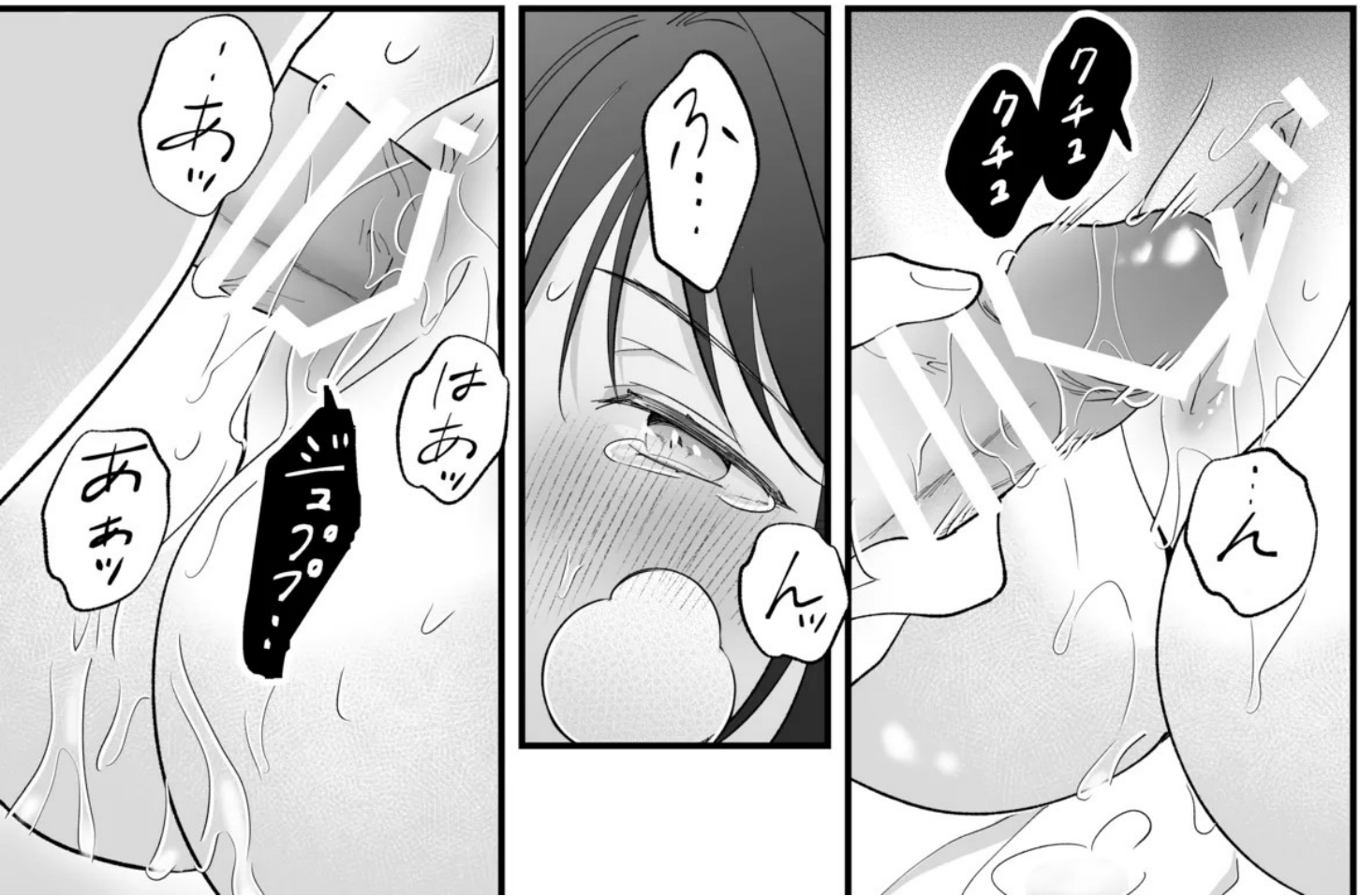

……
ぐちゅ。。


…
はぁ
…沙耶
する…
祝いの日に
怖い思いを
させて
ぱーん
はぁ…
本当に
すまない…

俺を
幸せにすると
言ってくれた
お前を
今日一番
幸せな花嫁に
はぁ
してやり
たかったのに

今まで
どれだけ
与えて
もらって
きただろう
宗司さん…
私を…
抱いて
何も
知らなかった
時の
憧れの気持ち
じゃなくて
この世で
一番
今
心の底から
あなたに抱いて
もらいたい
幸せな花嫁に
してください
ああ
幸せにする
この先も
ずっと

くちゅ
くちゅ
ちゅ…

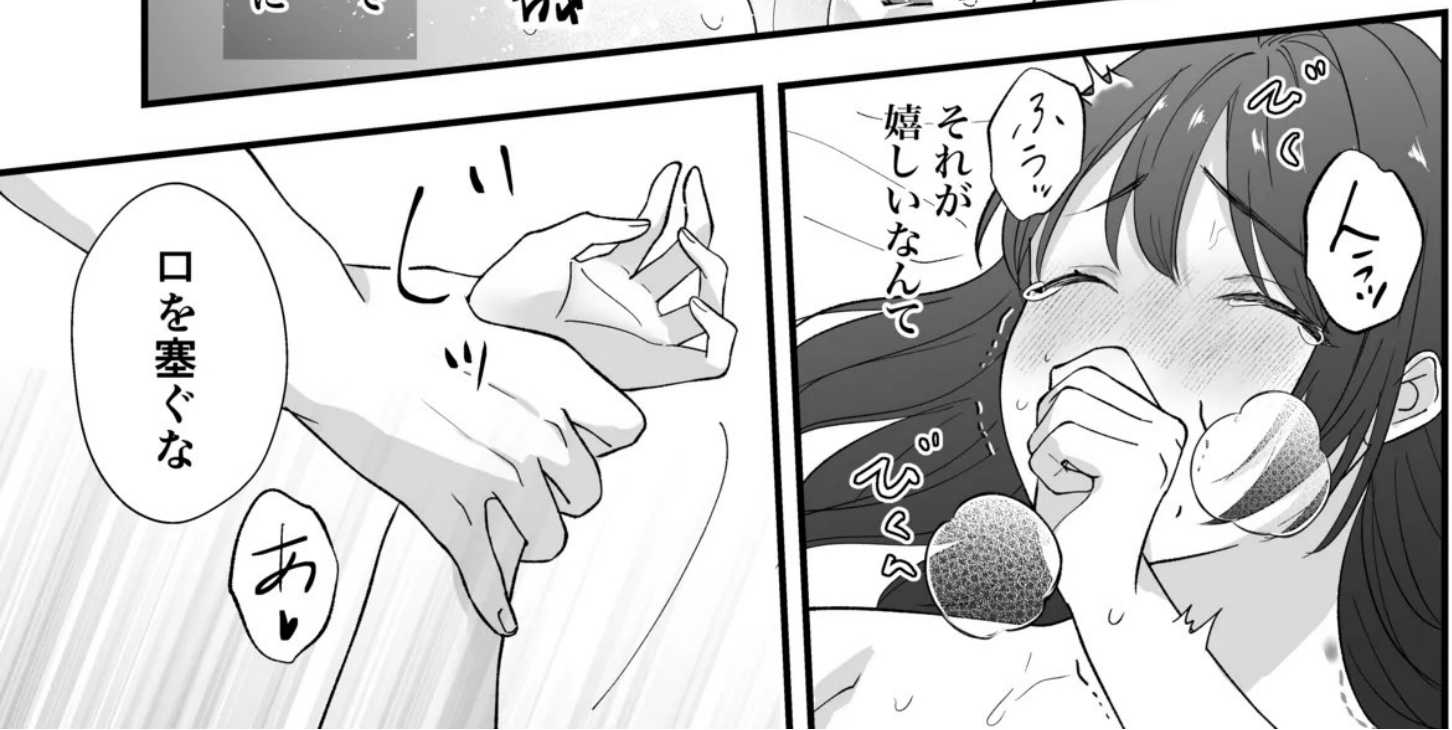

クチュ
クチュ
…ん
ん…
んッ
あッ
はあッ
ビュプッ
あぁッ

あッ
あッ
ずぶぶッ
びくん
あッ
あッ
びくッ

…沙耶
お前の膣内(なか)は
こんなにも
心地が
よかったんだな
はっ
すっ
はー

少し揺らすぞ
はぁッ
はッ
宗司さんが私の膣内で
ドクン
ドクン
熱く…脈打っている

ん♥
くちゅ
くちっ
…ん^
くちゅ
お腹の奥までいっぱいで苦しい…のに


んラッ
ぐぐ
ラッ
それが嬉しいなんて
ぐぐぐ
口を塞ぐな
あ♥

ゆらゆらと
揺さぶられて
いるだけなのに
あッ
あっ
ぱレッ
ぱレッ
繋がっている
ところから
全身に快楽が
広がって
ぱレッ
ぱレッ
あッ
きゅん♡
きゅうん♡
くちゅ
くちゅ
浅いとこと
なぶられるのが
気に入ったか？

はしたない声を
抑えられない…っ
んあッ
あぁッ
あぁんッ
沙耶…っ
はッ
じゅぷっ
もっと深く
お前を
感じたい

あ
あッ
はあッ
あッ
やぁッ♥
あぁッ

沙耶…
すり
ちゅ
ぱー
無理を
させては
いないか？
辛くなったら
お前が俺を
止めてくれ
そうでなければ

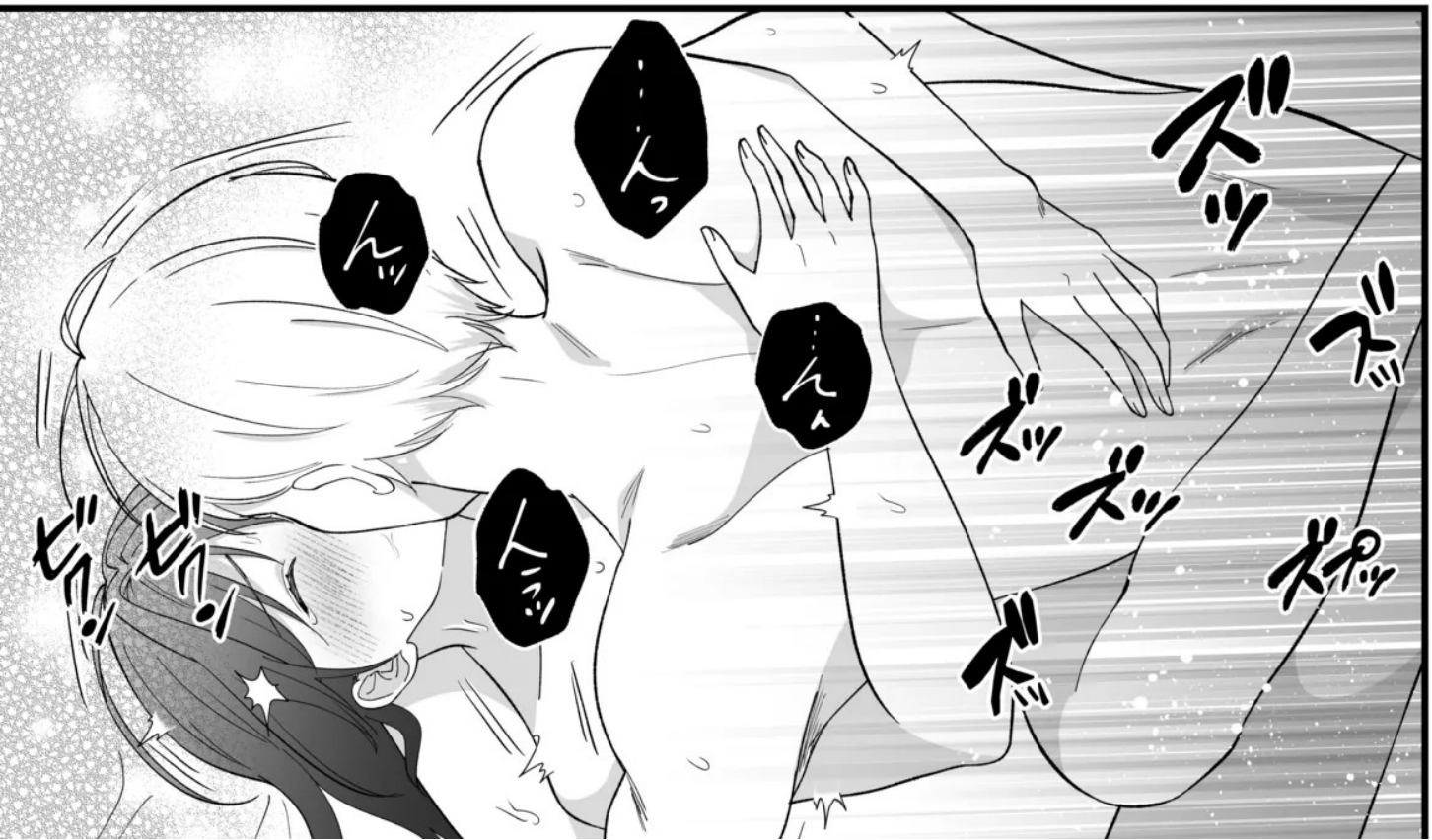
もう自制が
はぁ
はぁ…
利きそうにないから
ぽた

大丈夫です
え…
もう怖がったりしません

私…
ぎゅ
あなたでいっぱいになりたいです

ああ
お前を満たしたい
グッ…
ぴゅっ
あッ
あッ
あッ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
あッ

ちゃろ…
ビクッ♥
ぞくっ
ぞくっ
ちゅぱ
ちゅぱ
んあッ

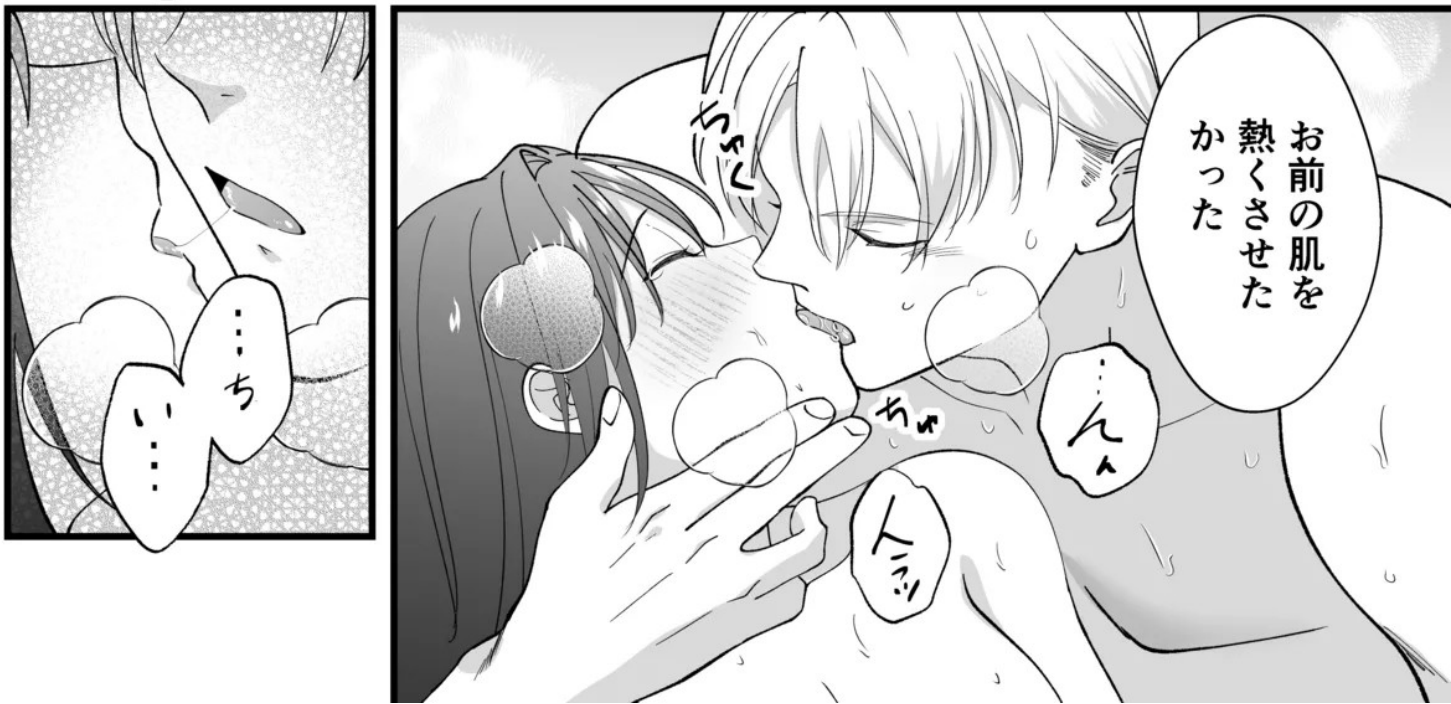

ズッ
ズズ
ズッ
ズッ
ズポッ
ズ
ん…っ
んッ
ん…
トッ
ビク!
ビク!

全部
受け止められるようになりたい
ビュッ
ビュッ
ビュッ

愛しい
ただあなたが
愛しい
あッ
ピクッ
あッ
あッ
ビクン
あッ
パチッ
パチッ
パチッ
パチッ

パンッ
パンッ
パンッ
はあッ
あぁッ
沙耶

ずっと
呪いの力
ではなく
こうやって
俺自身の手で
はあッ
あぁッ
パンッ


お前の肌を
熱くさせた
かった
ちゅく
ちゅ
…ん
ん…ッ
…ち
い…

沙耶
どうした？
きもち
よすぎて
もうなにも
わからなく
なりそうです
ああ
構わない
すべて
引き受ける
から
最後まで
グイ
俺のことだけ
感じていてくれ

あっ♡
あぁ♡
ひぁっ♡

くるっ♡
きちゃっ♡

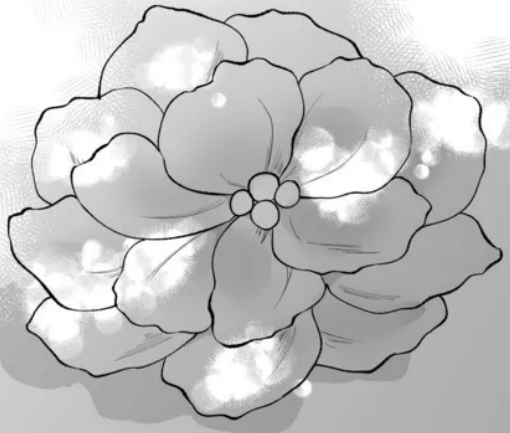
沙耶…
は、
な、
ズッ
共に…
果てたい
あ…
あっ…
ズンズン
あぐぐぐ
ビュ
ビュ
ビュビュ
ビュビュビュ
ビュッビュッ

カチッ
カチッ
沙耶…
は…ぁ
ボーン
ボーン

沙耶
呪いが解けたよ

お前の願いを
叶えてやることが出来たんだな

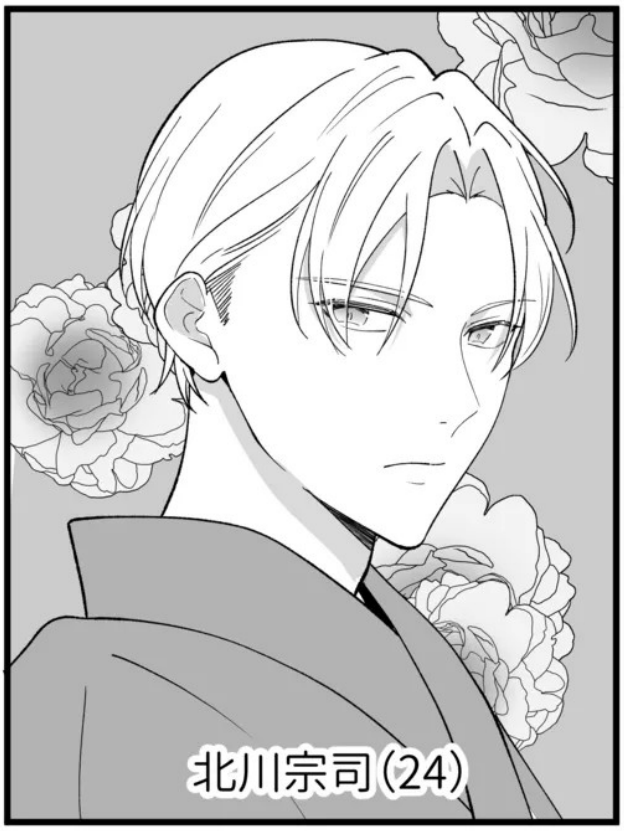
この身を
賭して



⇦次項⇦人物紹介とあとがき

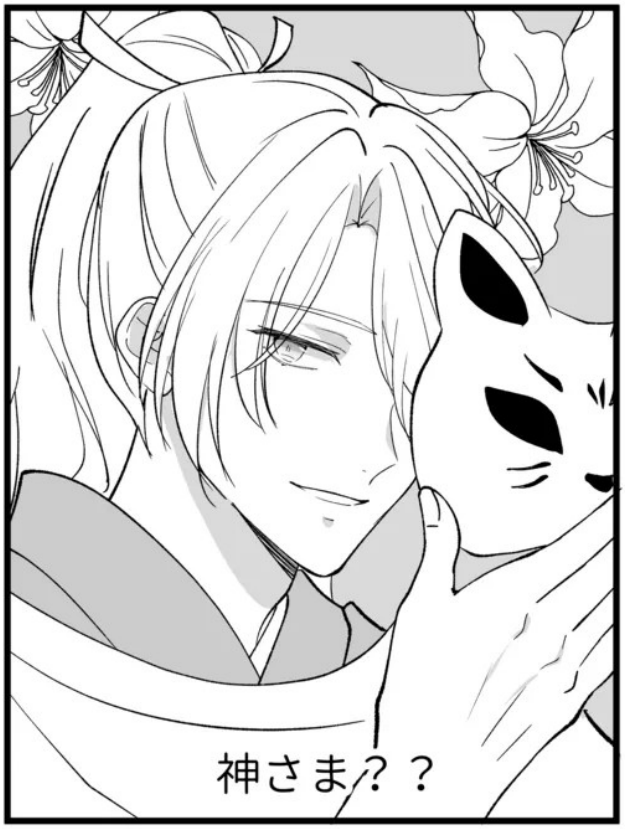
兄を尊敬し、慕う。
母子家庭育ちで子供の頃は
男性が苦手だったが
宗司に守られて過ごすうちに
克服されていった。
穏やかで控えめな性格だが
宗司のことだけは絶対に
諦めないマンで、宗司の優しさに
つけ込んででも側を離れない
と思う強かさも持っている。
2人の出会いは、困っている
沙耶を宗司が助けたこと。
それがきかっけで父母が
再婚することになった。

好きな人が好きで好きで
たまらないヒロインが好きで
ついつい描いてしまいます…。



冷静で落ち着いて見えるが
子供の頃は人を寄せ付けない
気難しい性格だった。
努力家で人望も厚いが、それは
沙耶に出会い癒されたことにより
彼女にとって良い兄であるために
身につけた処世術によるもの。
激情家な一面もあるが普段は
鋼の自制心で押さえ込んでいる。
EDなのは妹にだけで
沙耶への思いを断ち切るため
他の女性と関係を持ったことも
あったが、忘れることはできな
かった。
しっかりと自分を持っているよう
でいて、妹を中心に世界をまわす
のが心地良い隠れ溺愛お兄ちゃん。

宗司の呪いが解けたくだりを
さらっと描いてしまったので
描く予定にしている追加データの
エピローグ内でその辺をもう少し
掘り下げたいと思います。



沙耶の母が再婚前に働いていた
旅館の跡取り息子で宗司の従兄弟
沙耶とは幼馴染で、子供の頃から
想いを寄せているが、好きな子には
素直になれないタイプで
優しくできず、いじめてしまう。
父親から沙耶との見合いを提案された
時は気のない素振りをしつつ
内心狂喜乱舞した。
沙耶を一途に想う彼なら、
事情（発情）を知っても受け入れ
大切にしてくれると宗司は考え
沙耶を託そうとした。

恋敵役として本編に出演予定でしたが
ページ数がとんでもないことに
なりそうで断念しました…。
名前すら出てきませんでしたが
実は本項に1コマだけ登場しています
ので2周目で探してみてください。
大正シリーズが続けば、彼がメインの
お話も配信されるかも…？

沙耶にえっちな呪いをかけた
謎の人物。
呪いをかけるためだけに
出てきた？？となりつつも
過去に沙耶と繋がりがあり
呪いをかけたのには彼なりの
思惑があるようで…。

エピローグ（追加データ）で
その辺も少し描きたいなと
思います。
そして大正シリーズ次回作の
メインキャストでもあります。
2024年春配信予定なので
興味を持って下さった方は
楽しみにしていてください…！

「大正発情乙女の縁結び」をご覧いただき誠にありがとうございます。
無事に2作目を描き上げることができました…！
完成までにたくさんの方にお力をお借りしました。
関わってくださった方々、応援してくださった方々、
そして手に取ってくださった皆さまに心から感謝いたします。
このお話が愛される作品になることを願って。
また次回作でお会いできますように。

サークル/ZERI
著者/野ぜり
発行/2023年8月10日
Twitter/ https://twitter.com/nozeriye

この漫画の著作権は《ZERI/野ぜり》にあります。
この漫画を《ZERI/野ぜり》に許可なくインターネット上に
アップロードする行為は犯罪です。(著作権法23条)10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金、
またはその両方が同時に科せられます。(著作権法第119条第1項)
Reproduction is prohibited
禁止私自轉載、加工